PENTAX®

デジタルカメラ

Optio M20

使用説明書

カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio M20をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオはペンタックス株式会社の登録商標です。
SDロゴおよびSDHCロゴは商標です。
QuickTime™およびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

ImageLinkについて

ImageLinkおよびImageLink print systemのロゴは米国Eastman Kodak Companyの登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

警告 このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

注意 このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

 警告

- カメラを分解・改造などしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止して電池またはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ **注意**

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

電池の取り扱いについてのご注意

- このカメラは、単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケル水素電池、単3形ニッケルマンガン電池のいずれか2本を使用します。これら以外の電池は使用しないでください。カメラの性能が十分に発揮できない場合や、電池の破裂、発火の原因となることがあります。
- 単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケルマンガン電池は充電ができません。また電池は分解しないでください。無理に充電や分解をすると、破裂や液漏れの原因となります。
- 電池の外装シールは剥がさないでください。シールを剥がすと電池内部がショートした状態になり、発火や破裂、液漏れ、発熱の原因となります。
- 電池を交換するときは、メーカー、種類、容量の異なる電池を混ぜて入れないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。
- 電池の「+」と「−」の向きを間違えて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。

ACアダプターについて

 注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。

- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.28）をご覧ください。
- SDメモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、カメラやパソコン等の機能による消去やフォーマットを行っても、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理は、お客様の責任において行ってください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

撮影 61

音声の録音と再生 143

設定 148

付録 164

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
◘モード	静止画と動画の撮影、音声の録音をするモードです。本書では、静止画を撮影するモードを「静止画撮影モード」、動画を撮影するモードを「動画モード」、音声を録音するモードを「録音モード」と表記します。
▶モード	静止画と動画、音声を再生するモードです。
各撮影モードのアイコン	タイトルの上に表示されたマークは、その機能が使える撮影モードを表します。 例） **シャープネスを設定する**

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。撮影をはじめる前に必ずお読みになり、操作を行ってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影、再生したいときは、このページをご覧ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、4章以降をご覧ください。

4 撮影

さまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 画像の再生と消去

静止画や動画をカメラやテレビで再生する方法、カメラから消去する方法について説明しています。

6 画像の編集と印刷

撮影した静止画を印刷するためのさまざまな方法や、カメラで編集する方法について説明しています。撮影した画像のパソコンへの保存方法とACDSee for PENTAXのインストール方法に関しては別紙の「PC接続ガイド」を、パソコンでの画像の加工や印刷方法に関してはACDSee for PENTAXのヘルプをご覧ください。

7 音声の録音と再生

音声の録音や静止画像に音声（ボイスメモ）を追加する方法、音声の再生のしかたを説明しています。

8 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明しています。

9 付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内などをしています。

このカメラの楽しみ方

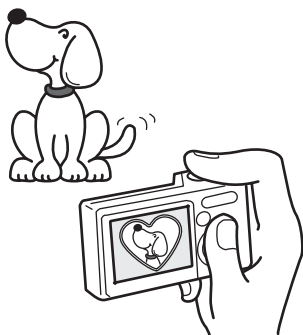
Optio M20では、一般的な写真撮影のほか、いろいろなシーンに応じたバリエーションに富んだ撮影方法をお楽しみいただけます。ここでは、Optio M20の特長的な楽しみ方をご紹介しましょう。操作説明のページもあわせてご覧いただき、ぜひOptio M20の楽しさを味わってみてください。

撮影も再生も、カメラがナビゲートしてくれる！

Optio M20は、大きく見やすい2.5型液晶モニターを搭載。毎秒60フレームのなめらかで高品質な表示性能を備えていますので、スムーズに構図を決めることができます。また撮影や再生、編集のためのさまざまな機能の設定も、液晶モニターに表示されるわかりやすいアイコンを選ぶだけのカンタン操作です。
撮影モード選びに迷ってしまったら、まずは AUTO PICT（オートピクチャー）（p.61）を選択。撮影シーンに応じた適切な撮影モード*を、カメラが判断して選んでくれます。
各モードの機能や使い方も、アイコンを選んだときに表示されるガイドで確認できる親切設計です。(p.60)

* AUTO PICT（オートピクチャーモード）では、☺（標準モード）、（夜景モード）、（風景モード）、（ポートレートモード）の中から最適な撮影モードが選ばれます。

- **めんどうな設定はカメラにまかせて。**
- **グリーンモードを使うと、標準設定で手軽に撮影可能。（p.64）**

フレームをあらかじめ選んで構図を決められる！

Opito M20では、子供やペットの写真を撮るときにかわいいフレームを合成することができます。（p.67）撮影した写真に後からフレームを合成するのも、もちろんOK！フレームの形や大きさに合わせて被写体の位置を微調整したり、写真を縮小・拡大して合成することもできます。フレームと被写体のバランスが微妙に合わない・・・なんていうことはありません。

- **フレームを使った記念写真に。**

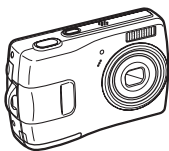
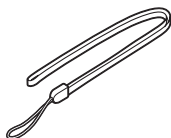
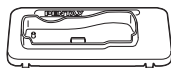
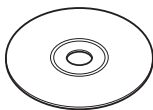
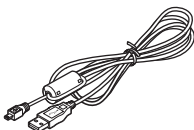
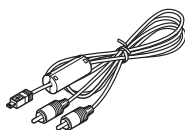
パソコンがなくても簡単にプリントできる！

PictBridge対応のプリンターなら、カメラをUSBケーブルでつないでダイレクトにプリントできます。また、付属のドックインサートをセットしたKodak EasySoftプリンタードックなら、そのままカメラをプリンターにセット、ボタンひとつで誰でも簡単に写真のプリントを楽しめます。
せっかく撮った写真を家庭でプリントしたいけど、パソコンの操作はどうも難しくて・・・なんてあきらめる必要はありません。

- **パソコンを使わず、お手軽ラクラクプリント。**

カレンダー形式で表示できる！

Optio M20では、撮影した画像や録音した音声を日付ごとにカレンダー形式で表示できます。（p.109）再生したい写真や音声を、すばやく見つけることができます。

主な同梱品の確認

本体
Optio M20

ストラップ
O-ST51（※）

ドックインサート
O-DI58

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW58

USBケーブル
I-USB7（※）

AVケーブル
I-AVC7（※）

単3形アルカリ電池
（2本）

PC接続ガイド

使用説明書
（本書）

簡単ガイド

保証書

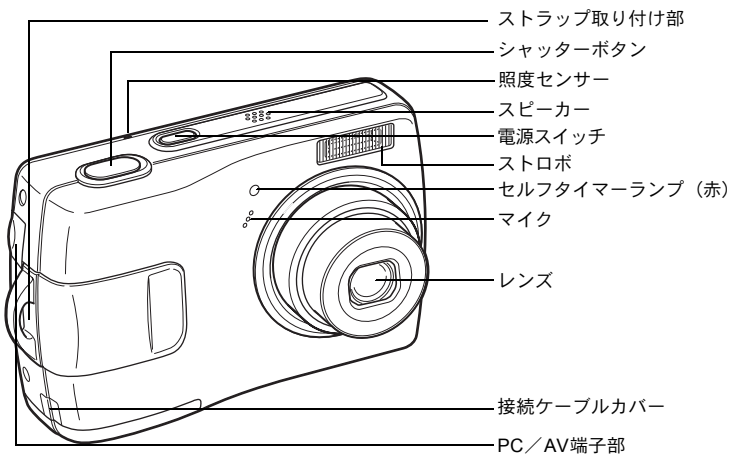
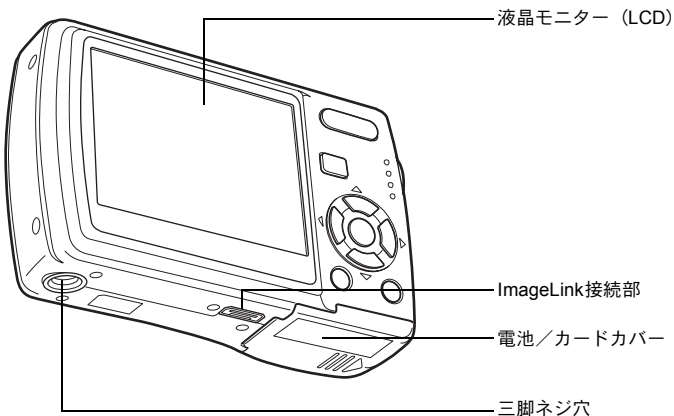
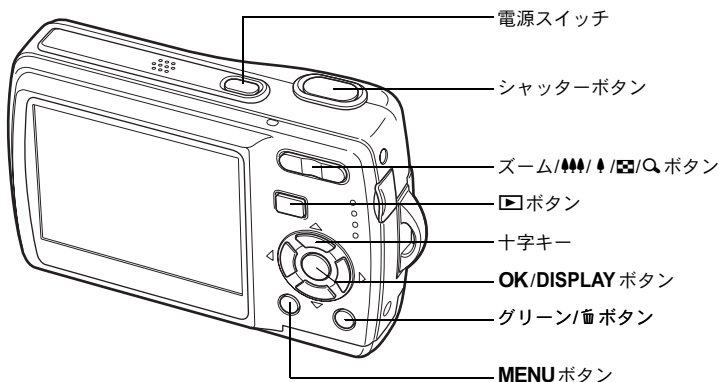
（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.170）をご覧ください。

各部の名称

前面

ストラップ取り付け部
シャッターボタン
照度センサー
スピーカー
電源スイッチ
ストロボ
セルフタイマーランプ（赤）
マイク
レンズ
接続ケーブルカバー
PC／AV端子部

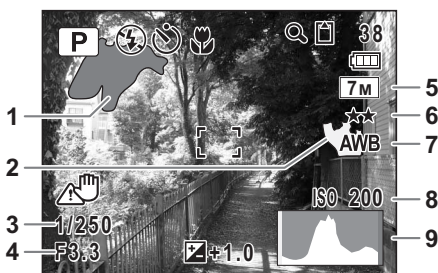
背面

液晶モニター（LCD）
ImageLink接続部
電池／カードカバー
三脚ネジ穴

操作部の名称

各ボタンの機能は、「ボタンの機能を使用する」（p.43～p.46）をご覧ください。

画面の表示

静止画撮影モード 通常表示
撮影条件などを表示します。

1 撮影モード（p.52）
2 ストロボモード（p.81）
3 ドライブモード（p.72、p.73）
4 フォーカスモード（p.79）
5 手ぶれ警告表示（p.77）
6 デジタルズーム表示（p.74）
7 メモリー状態表示（p.32）
　内蔵メモリー（カードなし）
　SDメモリーカード
　カードロック状態
8 撮影可能枚数
9 電池残量表示（p.22）
10 フォーカスフレーム（p.39）
11 露出補正値（p.76）
12 現在の日時（p.37）
13 ワールドタイム（p.154）
　アイコンなし：現在地
　✈：目的地

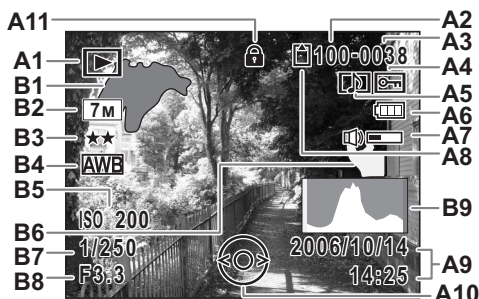
静止画撮影モード フル表示
（説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。）

1 白とび（赤で点滅）
2 黒つぶれ（黄色で点滅）
3 シャッター速度
4 絞り値
5 記録サイズ（p.83）
6 画質（p.85）
7 ホワイトバランス（p.87）
8 感度（p.90）
9 ヒストグラム（p.78）

※3と4は、シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます。

「白とび」「黒つぶれ」表示について

被写体の中で明るすぎて白くとんでしまう部分がある場合、その部分が赤の点滅で警告表示されます。また暗すぎて黒くつぶれてしまう部分がある場合、その部分が黄色の点滅で警告表示されます。

静止画再生モード フル表示
（説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。）

撮影条件などを表示します。A1～A11は「通常表示」、「ヒストグラム＋情報」表示のいずれの場合も表示されます。B1～B9は「ヒストグラム＋情報」表示のときにのみ表示されます。(p.112)

A1 再生モード（p.58）
A2 フォルダ番号（p.156）
A3 ファイル番号
A4 画像プロテクト表示（p.122）
A5 ボイスメモ表示（p.147）
A6 電池残量表示（p.22）
A7 音量表示（p.147）
A8 メモリー状態表示（p.32）
：内蔵メモリー（カードなし）
：SDメモリーカード
：カードロック状態

A9 撮影日時（p.37）
A10 十字キーガイド表示
A11 キーロック表示（p.64）
B1 白とび（赤で点滅）（p.17）
B2 記録サイズ（p.83）
B3 画質（p.85）
B4 ホワイトバランス（p.87）
B5 感度（p.90）
B6 黒つぶれ（黄色で点滅）（p.17）
B7 シャッター速度
B8 絞り値
B9 ヒストグラム（p.78）

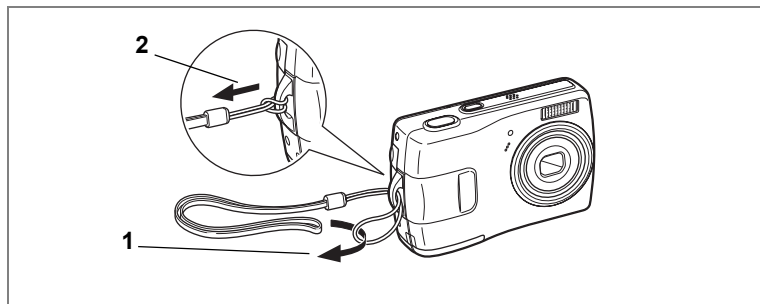
通常表示時にボタン操作を2秒間何も行わないと、A6、A9の表示は消えます。

ガイド表示について

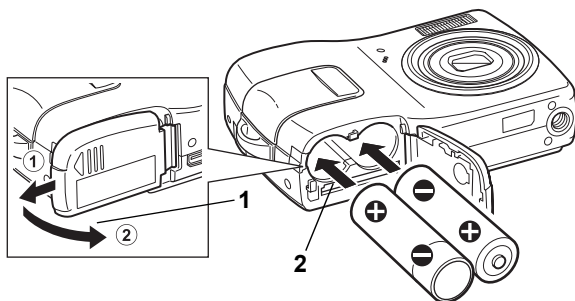
操作中は液晶モニターにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

ボタン	表示
十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU
ズームボタン	🔍
OK/DISPLAYボタン	OK
シャッターボタン	SHUTTER
グリーン/🗑ボタン	◉、🗑

ストラップを取り付ける

付属のストラップ（O-ST51）を取り付けます。

1　ストラップの細いひもの部分を、本体のストラップ取り付け部に通す

2　ストラップ端を細いひもの輪にくぐらせて引き締める

電源を準備する

電池をセットする

カメラに電池をセットします。電池は単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケル水素電池、単3形ニッケルマンガン電池のいずれかを2本使用します。

1　電池／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2　電池の向きを電池室内の＋－表示に合わせて、挿入する

3　電池／カードカバーを閉めて、水平方向に押し込む

長時間連続してご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC51J（別売）をご使用ください。（p.23）

- 単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケルマンガン電池は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、電池／カードカバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液もれすることがあります。
- カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、このとき、日時の設定がリセットされることがあります。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。また、電池の電極をよく拭いてから装填してください。

- **静止画撮影可能枚数と動画撮影、音声録音、再生時間の目安**
  （23℃・液晶モニター点灯・電池交換時）

各種の電池を利用したときの撮影可能枚数と再生時間です。

電池種別	静止画撮影枚数※1	動画撮影時間※2	音声録音時間※2	再生時間※2
単3形リチウム電池	700枚	300分	1340分	900分
単3形ニッケル水素電池	460枚	200分	680分	640分
単3形ニッケルマンガン	330枚	120分	630分	570分
単3形アルカリ電池	220枚	90分	570分	500分

※1：撮影可能枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA 規格抜粋：液晶モニター ON、ストロボ使用率50％、23℃）
※2：時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。

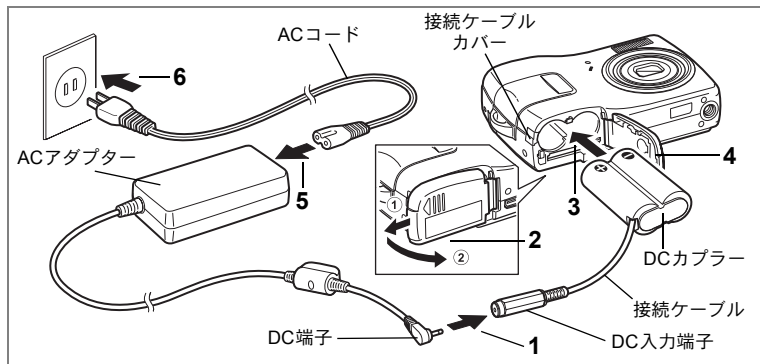
- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 単3形アルカリ電池は特性上、カメラの性能を十分に発揮できない場合がありますので、緊急用として以外は、使用をおすすめしません。
- 単3形アルカリ電池、単3形ニッケルマンガン電池は特性上、低温ではカメラの性能を十分に発揮できないことがあります。低温でご使用の際は、単3形リチウム電池など他の電池の使用をお勧めします。
- 海外旅行などの長期のおでかけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備電池をご用意ください。

• 電池の残量表示

液晶モニターに表示された［電池マーク］で、電池の残量を確認できます。

画面表示	電池の状態
［電池マーク］（緑）	電池がまだ十分に残っています。
［電池マーク］（緑）	少し減っています。
［電池マーク］（黄）	だいぶ減っています。
［電池マーク］（赤）	残量がほとんどありません。
「電池容量がなくなりました」	メッセージ表示後、電源がオフとなります。

単3形ニッケルマンガン電池使用時、電池特性の関係で電池残量が正しく表示されないことがあります。十分使用された電池であっても、電池残量表示が［電池マーク］になる場合があります。また、表示が［電池マーク］のまま、警告なく電源がオフになることがあります。

1 準備

家庭用電源で使用する

長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプターキットK-AC51J（別売）を接続して、家庭用電源でのご使用をおすすめします。
※ACアダプターキットK-AC51Jは、ACアダプターD-AC5、DCカプラーD-DC51、ACコードD-CO2Jのセットです。

1 ACアダプターのDC端子を、DCカプラーのDC入力端子に接続する

2 カメラの電源が切れていることを確認してから、電池／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

3 DCカプラーの向きを電池室内の⊕⊖表示に合わせて、挿入する

4 接続ケーブルで接続ケーブルカバーを押し開きながら、電池／カードカバーを閉める

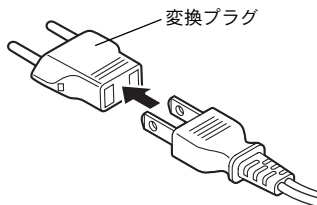
電池／カードカバーは、①と逆方向へ水平に押し込みます。電池／カードカバーが開かないよう、奥までしっかり押し込んでください。

5 ACコードをACアダプターに接続する

6 電源プラグをコンセントに差し込む

- ACアダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行ってください。
- 電源および接続ケーブルはしっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）をお読みください。
- ACアダプターをご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC51Jに同梱の使用説明書をあわせてご覧ください。

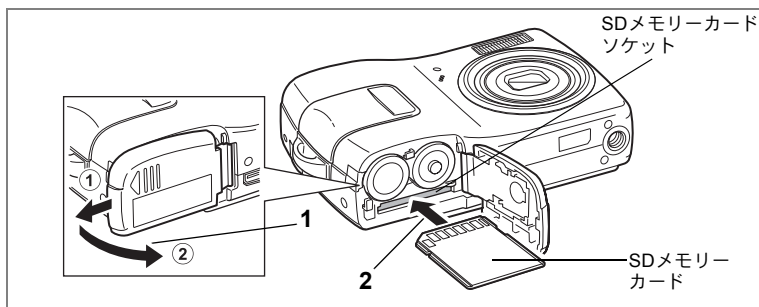
海外でACアダプターを使用する

ACアダプターキットK-AC51J（別売）は、自動で全世界の電源電圧（100-240V）、電源周波数（50Hz、60Hz）に切り替わるように設計されています。
ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、「主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ」（p.25）を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合った変換プラグを準備してください。

- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。
- ご使用にならないときは、変換プラグをコンセントから外してください。

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

ACアダプターキットK-AC51J（別売）に付属のACコードD-CO2Jは、タイプAです。

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

		A	B	BF	C	S
北米	アメリカ合衆国、カナダ	○				
ヨーロッパ、旧ソ連地域	アイスランド、アイルランド、イタリア、ウクライナ、オーストリア、オランダ、カザフスタン、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベラルーシ、ベルギー、ルーマニア、ロシア				○	
	イギリス		○	○		
	スペイン	○			○	
	スイス、ポーランド、ポルトガル		○		○	
アジア	日本、台湾	○				
	スリランカ、モルジブ		○			
	ネパール、バングラデシュ、モンゴル				○	
	ベトナム	○			○	
	インド、インドネシア、パキスタン、マカオ特別区		○		○	
	タイ	○		○	○	
	大韓民国	○	○		○	
	フィリピン	○			○	○
	シンガポール、香港特別行政区		○	○		
	中華人民共和国	○	○	○	○	○
	マレーシア		○	○	○	
オセアニア	オーストラリア、トンガ、ニュージーランド、フィジー					○
	グァム島	○				
	タヒチ				○	
中南米	コロンビア、ジャマイカ、ハイチ、パナマ、バハマ、プエルトリコ、ベネズエラ、メキシコ	○				
	ブラジル、ペルー	○			○	
	チリ		○		○	
	アルゼンチン			○	○	○
中東	イスラエル、イラン				○	
	クウェート		○		○	
	ヨルダン		○	○		
アフリカ	カナリア諸島、ギニア、モザンビーク、モロッコ				○	
	ケニア、南アフリカ共和国		○		○	
	アルジェリア	○	○	○		
	エジプト		○	○	○	
	ザンビア、タンザニア		○	○		

SDメモリーカードをセットする

このカメラで使用できるカードは、SDメモリーカードです。撮影した画像や録音した音声は、カメラにセットしたSDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットしていないときは、内蔵メモリーに記録されます。（p.32）

- **未使用または他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする」（p.148）をご覧ください。**
- SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

撮影できる静止画の枚数は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。（p.29）

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリーに記録されたデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータは、パソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

1 電池／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2 SD メモリーカードのラベル面をカメラの液晶モニター側に向け、カメラのSDメモリーカードソケットに挿入する

カードはカチッと音がするまでしっかり押し込んでください。カードがしっかり入っていないと、画像や音声が正常に記録されないことがあります。

3 電池／カードカバーを閉めて、水平方向に押し込む

SDメモリーカードを取り出す

1 電池／カードカバーを開ける

2 SDメモリーカードを中に押し込む

SD メモリーカードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜いてください。

1
準備

SDメモリーカード使用上の注意

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。
  液晶モニターでは🔒と表示されます。
- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、電池を抜いたとき
- SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、カードに空き容量があっても動画撮影時に途中で撮影が終了したり、撮影、再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

静止画の記録サイズと画質

撮影する静止画の「記録サイズ」（横×縦の大きさ）と「画質」（画像記録時のデータ圧縮率）は、撮影後の画像の用途に応じて設定します。
「記録サイズ」や「画質」を大きい値に設定するほど鮮明な画像になります。ただし、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数（カメラの内蔵メモリーやSDメモリーカードに記録できる枚数）は少なくなります。
なお、撮影した写真や印刷した写真の美しさ、鮮明さには、画質設定や露出補正などの撮影時設定、あるいは使用するプリンターの解像度なども関係してきますので、記録サイズをむやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、2M（1600×1200）程度が目安となります。下の表を参考に、用途に応じて適切な「記録サイズ」と「画質」を設定してください。

● 選べる記録サイズと適した用途

記録サイズ		用途
7M 3072×2304	↑ 鮮明、きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など
5M 2560×1920		
4M 2304×1728		
3M 2048×1536		
2M 1600×1200		はがきサイズプリントなど
1024 1024× 768		
640 640× 480		ホームページ掲載、電子メール添付など

初期設定では、7M（3072×2304）が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

初期設定では、★★（ファイン）が選択されています。

静止画の「記録サイズ」と「画質」の設定は、「撮影」メニューで行います。

記録サイズを選択する ☞p.83

画質を選択する ☞p.85

● 記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安

	★★★（S.ファイン）		★★（ファイン）		★（エコノミー）	
	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB
7M 3072×2304	6枚	35枚	12枚	69枚	18枚	103枚
5M 2560×1920	8枚	49枚	17枚	95枚	24枚	137枚
4M 2304×1728	11枚	62枚	22枚	124枚	31枚	178枚
3M 2048×1536	13枚	77枚	27枚	153枚	40枚	223枚
2M 1600×1200	22枚	124枚	36枚	206枚	54枚	301枚
1024 1024× 768	43枚	244枚	73枚	412枚	93枚	522枚
640 640× 480	87枚	489枚	127枚	712枚	175枚	979枚

• この表の数値は、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

動画の記録サイズ、画質、フレームレート

撮影する動画の「記録サイズ」と「フレームレート」（1秒間に撮る画面数）は、動画の用途に応じて設定します。
「記録サイズ」を大きい値に設定するほど鮮明な画像になりますが、ファイルサイズが増えます。
「フレームレート」を大きい値にするほど滑らかな動きになりますが、ファイルサイズが増えます。
動画の「記録サイズ」と「フレームレート」の設定は、「撮影」メニューの「動画」で行います。

動画の記録サイズを選択する ☞p.100

「動画の画質を選択する」☞p.102

フレームレートを選択する ☞p.103

● 選べる記録サイズと適した用途

640 (640×480)	テレビやパソコンの画面で動画を見るときに適しています。
320 (320×240)	電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

初期設定では、640（640×480）が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	▲ 鮮明な画像になりますが、ファイルサイズは大きくなります。
★★	ファイン	
★	エコノミー	▼ 粗い画像になりますが、ファイルサイズは小さくなります。

初期設定では、★★★（S.ファイン）が選択されています。

● 選べるフレームレートと適した用途

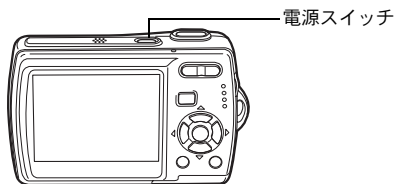
30fps	動きの滑らかな動画で記録されます。記録時間は短くなります。
15fps	画像の容量が小さくなるため、記録時間が長くなります。

初期設定では、30fps（フレーム／秒）が選択されています。

● 記録サイズ／画質／フレームレートと撮影可能時間の目安

		30fps		15fps		音声	
		内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB
640 640×480	★★★	20秒	1分56秒	41秒	3分50秒	17分23秒	1時間36分58秒
	★★	28秒	2分36秒	54秒	5分1秒		
	★	42秒	3分57秒	1分22秒	7分40秒		
320 320×240	★★★	33秒	3分6秒	1分3秒	5分55秒		
	★★	45秒	4分12秒	1分27秒	8分9秒		
	★	1分3秒	5分55秒	2分7秒	11分51秒		

• この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

電源をオン／オフする

1 電源スイッチを押す

電源がオンになり、液晶モニタが点灯します。
電源をオンにすると、レンズバリアが開き、レンズが前に繰り出します。
カメラの電源を入れたときに、「言語設定」あるいは「日時設定」の画面が表示された場合は、p.34の手順に従って設定を行ってください。

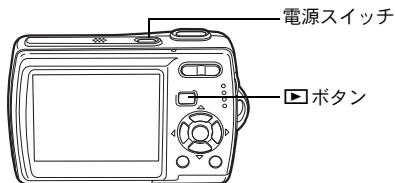
2 もう一度電源スイッチを押す

電源がオフになり、液晶モニタが消灯してレンズが収納されます。

撮影する ☞p.61

カードチェック

電源をオンにすると、カードチェックが自動的に行われます。SDメモリーカードがセットされていないと、液晶モニターに［内蔵メモリーアイコン］が表示されます。その場合、画像や音声は内蔵メモリーに記録されます。
またSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっていると、［カードアイコン］のかわりに［ロックアイコン］が表示されます。ロック状態では画像や音声の記録はできません。

カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、この場合は日時などの設定が初期化されていることがありますので、p.37の手順に従って設定をしなおしてください。

再生専用モード

再生専用モードは、レンズが収納された再生モードです。撮影はせずに、すぐに画像や音声を再生したいときに使用します。シャッターボタンなどを押しても、📷モードには移行しません。

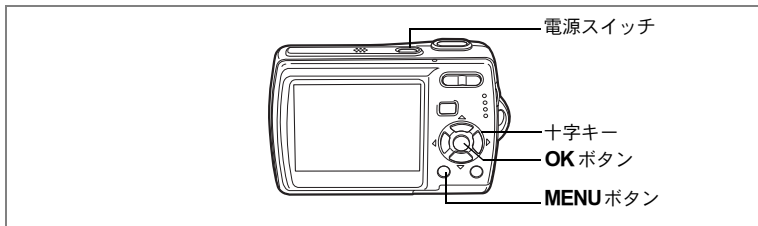
1 ▶ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

レンズは収納されたまま液晶モニタが点灯し、再生専用モードで起動します。

再生専用モードから📷モードへ切り替えるには、いったん電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。

静止画を再生する ☞p.41

初期設定をする

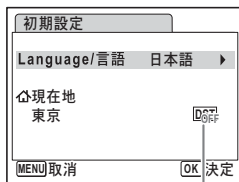
ご購入後、最初にお使いになる前に、まず言語と日時を設定してください。

カメラの電源を入れたときに、「Language/言語」の画面が表示されたら、下記の「言語を設定する」の手順で言語を「日本語」に、「日時を設定する」（p.37）の手順で日時を現在の日時に設定してください。
「日時設定」の画面が表示されたら、「日時を設定する」（p.37）に進んでください。

設定した「言語」と「日時」は後から変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。
- 言語を変更したいときは：「表示言語を変更する」（☞p.155）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（☞p.151）

言語を設定する

1 十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ

2　OK ボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。「現在地」が東京、「夏時間」が DST OFF に設定されていたら、もう一度 **OK** ボタンを押して「日時設定」の画面を表示させます。引き続き、「日時を設定する」（p.37～38）に進んでください。
それ以外の設定になっていたら、手順4「現在地、夏時間の設定をする」に進んでください。

夏時間

もし誤って日本語以外の言語を選んで次に進んでしまったら、あわてず下記の操作で、まず日本語の表示に設定し直してください。

- **「Language/言語」画面で、日本語以外の言語を選んでOK ボタンを押してしまった！**

1　十字キー（▶）を押す
2　十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選んで、OK ボタンを押す

- **手順2で外国語の設定のまま次の画面を表示させてしまった！**

1　OK ボタンを押す
2　MENU ボタンを押す
3　十字キー（▶）を押す
4　十字キー（▼▲）を押して、「Language/言語」を選ぶ
5　十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

6　十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ
7　OK ボタンを押す

日本語の「設定」メニューが表示されます。

ここまでの操作で、「Language/言語」の設定が「日本語」に設定し直されました。「現在地」と「日時」を設定しなおす必要がある場合は、下記のページをご覧になって、「現在地」を「東京」に、「日時」を現在の日時に設定し直してください。

- 現在地を変更したいときは：「ワールドタイムを設定する」（p.153）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（p.151）

現在地、夏時間の設定をする

3　十字キー（▼）を押す

選択枠が「現在地」に移動します。

4　十字キー（▶）を押す

「現在地」画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）を押して、「東京」を選ぶ

6　十字キー（▼）を押す

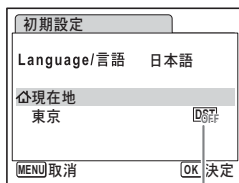
選択枠が「夏時間」に移動します。

7　十字キー（◀▶）を押して、□（オフ）に設定する

8　OKボタンを押す

「初期設定」画面が表示されます。

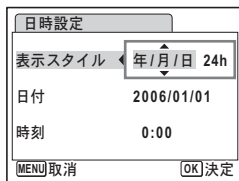
9　OKボタンを押す

「日時設定」画面が表示されます。引き続き、日付と時刻を設定します。

日時を設定する

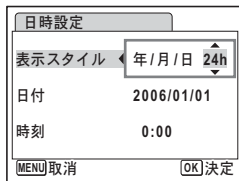
日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

1　十字キー（▶）を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。

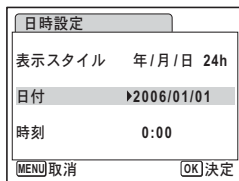
2　十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

3　十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

4　十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

5　十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

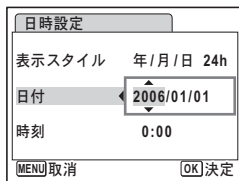
6　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

7　十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

8　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

1 準備

9 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

設定した「言語」「日時」「現在地」「夏時間」は後から変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。

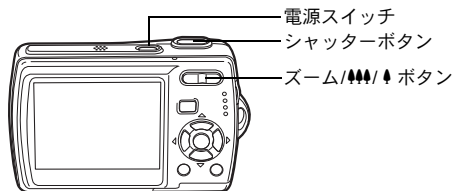
- 言語を変更したいときは：「表示言語を変更する」（☞p.155）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（☞p.151）
- 現在地、夏時間のオン／オフを変更したいときは：「ワールドタイムを設定する」（☞p.153）

初期設定の途中で**MENU**ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。

手順9で**OK**ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK**ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

初期設定で「現在地」を変更すると、ビデオ出力方式（NTSC/PAL）も選んだ都市の方式に自動的に設定されます。設定されるビデオ出力方式と、初期設定後の変更のしかたについては、下記のページをご覧ください。

- 初期設定で設定されるビデオ出力方式：「都市名一覧」（p.164）
- 初期設定後にビデオ出力方式を変更する：「ビデオ出力方式を選択する」（p.158）

静止画を撮影する

最も標準的な撮影方法を説明します。ストロボは、明るさに応じて自動的に発光します。

1 電源スイッチを押す

電源がオンになり、静止画が撮影できる状態になります。本書ではこの状態を「静止画撮影モード」と表記します。

フォーカスフレーム

2 液晶モニターを確認する

液晶モニター中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。
ズーム/♠♠♠/♠ ボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

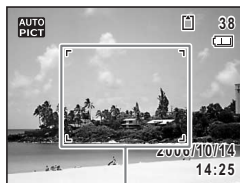
♠ ：被写体を拡大して写す

♠♠♠：被写体を広い範囲で写す

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。
撮影した画像は液晶モニターに1秒間表示（クイックビュー）された後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。（p.40）

- 初期設定では、撮影モードは AUTO PICT（オートピクチャーモード）に設定されています。（p.61）電源をオンにすると、AUTO PICT モードで静止画を撮影できる状態になります。
- グリーンボタンを押すと、すべての撮影条件をカメラが自動設定するグリーンモードに切り替わります。（p.64）

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し
シャッターボタンを軽く押した状態です。ピント位置、露出がロックされます。半押しのとき、ピントが合うと液晶モニターに緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、赤い枠が点灯します。

全押し
シャッターボタンを下まで押した状態です。撮影が行われます。

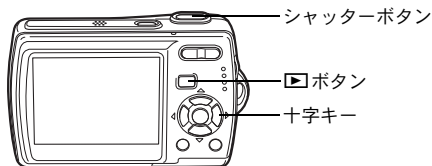
[ピント合わせの苦手な条件]

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

クイックビュー

撮影直後には、撮影した画像が液晶モニターに1秒間表示（クイックビュー）されます。クイックビューの表示時間は変更できます。（p.92）
クイックビュー中に 🗑 ボタンを押すと、画像を消去できます。

静止画を再生する

画像を再生する

1　撮影後に▶ボタンを押す

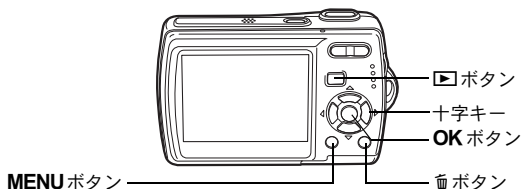
撮影した画像が液晶モニターに表示されます。本書ではこの状態を▶モード（再生モード）と表記します。また、▶モード時に画像が1枚だけ表示されている状態（▶モードの初期状態）を「1画面表示」と呼びます。
▶モード時にもう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、📷モードに切り替わります。

前後の画像を再生する

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

前後の画像が表示されます。

表示された画像を回転表示する

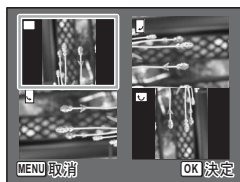
1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

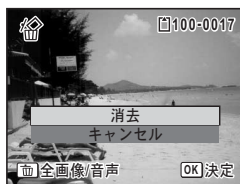
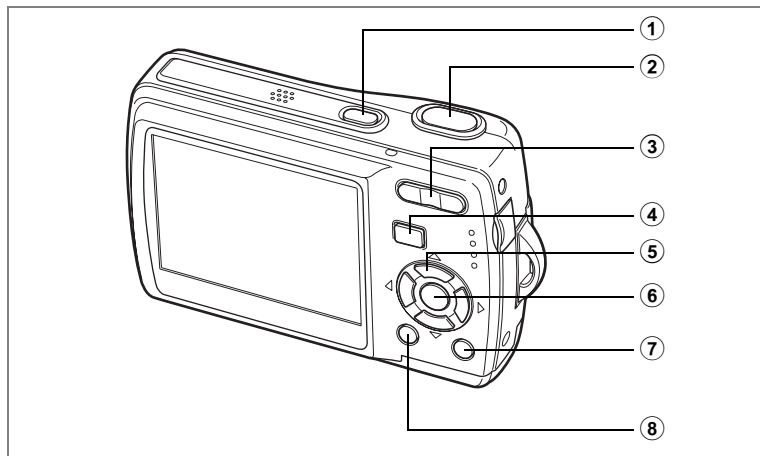
3　十字キー（▲▼◀▶）で◇（画像回転）を選ぶ

回転方向を4種類（0度、右90度、左90度、180度）から選ぶ画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼◀▶）で回転方向を選び、OK ボタンを押す

回転した状態で画像が表示されます。

- 動画は回転表示できません。
- プロテクトされた画像は、回転表示はできますが、回転された状態は記録されません。

表示した画像を消去するには

画像表示中に🗑ボタンを押すと、表示中の画像を消去する画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び **OK** ボタンを押すと、表示中の画像を消去できます。（p.117）

ボタンの機能を使用する

📷モード時

① **電源スイッチ**
電源をオフにします。（p.32）

② **シャッターボタン**
静止画撮影モードで半押しすると、ピント合わせを行います。（フォーカスモードが、▲、**PF**、**MF**のときを除く）（p.39）
全押しすると、静止画を撮影します。（p.39）
🎥モードでは、動画の撮影を開始、終了します。（p.98）
🎙モードでは、音声の録音を開始、終了します。（p.143）

③ **ズーム/⁂/⁎/⊞/🔍ボタン**
撮影する範囲を変えます。（p.74）

④ **▶ボタン**
▶モードに切り替えます。（p.106）

⑤ **十字キー**

（▲）　：ドライブモードを切り替えます。（p.72、p.73）
（▼）　：撮影モードパレットを表示します。（p.52）
（◀）　：ストロボモードを切り替えます。（p.81）
（▶）　：フォーカスモードを切り替えます。（p.79）
（▲▼）：**MF**設定時、**MF**調整をします。（p.80）

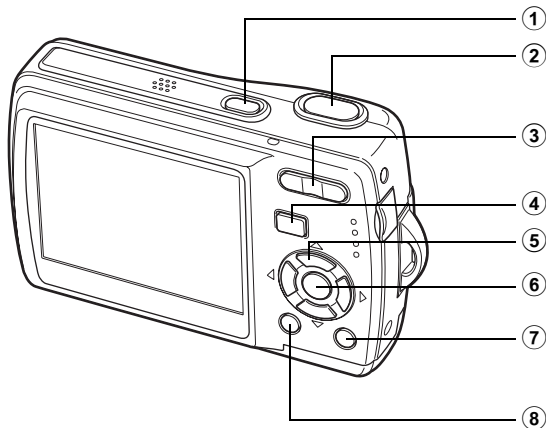
⑥ **OK/DISPLAYボタン**

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（p.77）

⑦ **グリーンボタン**

グリーンモードに移行します。（p.64）
特定のメニューをすばやく呼び出します。（p.56）

⑧ **MENUボタン**

「📷撮影」メニューを表示します。（p.47）

▶モード時

① **電源スイッチ**
電源をオフにします。（p.32）

② **シャッターボタン**
半押しすると📷モードに切り替わります。（p.106）

③ **ズーム/▦/🔍ボタン**
1画面表示時に▦を押すと9画面表示になります。🔍を押すと、前の表示に戻ります。（p.108）
1画面表示時に🔍を押すと画像が拡大表示されます。▦を押すと前の表示に戻ります。（p.110）
9画面表示時に▦を押すと、フォルダ表示またはカレンダー表示になります。（p.109）
フォルダ表示時に🔍を押すと、選択フォルダの9画面表示になります。（p.109）
カレンダー表示時に🔍押すと、選択日付の9画面表示になります。（p.109）
動画・音声再生中に音量調節ができます。（p.115、p.145）

④ **▶ボタン**
📷モードに切り替えます。（p.106）

⑤ 十字キー

（▲）　　　：動画・音声を再生／一時停止します。（p.115、p.145）
（▼）　　　：再生モードパレットに移行します。（p.59）
再生中の動画・音声を停止します。（p.115、p.145）
（◀▶）　　：1画面表示時は、前後の画像・音声を表示します。（p.41）
動画表示時は、コマ送り、コマ戻し、逆方向再生をします。（p.115）
音声再生時は、早送り、巻き戻し、インデックス位置への移動をします。（p.145）
（▲▼◀▶）：拡大表示時は、表示範囲を移動します。（p.110）
9画面表示時は画像、フォルダ表示時はフォルダ、カレンダー表示時は日付を選択します。（p.108、p.109）
フレーム合成時は、画像の位置を調整します。（p.131）

⑥ OK/DISPLAYボタン

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（p.112）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.108、p.110）
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります。（p.109）
カレンダー表示時は、選択日付の1画面表示に変わります。（p.109）

⑦ グリーン/🗑ボタン

1画面表示時は、消去画面に移行します。（p.117）
9画面表示時は、選択消去画面に移行します。（p.119）
フォルダ表示時は、カレンダー表示画面に移行します。（p.109）
カレンダー表示時は、フォルダ表示画面に移行します。（p.109）

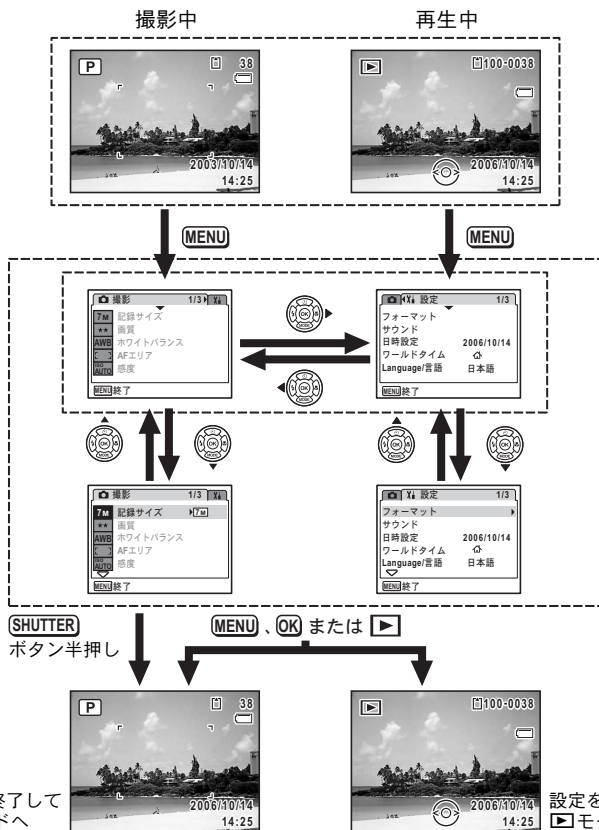
⑧ MENUボタン

1画面表示時は、「🔧設定」メニューを表示します。（p.47）
再生モードパレット表示時は、1画面表示に戻ります。（p.58）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.108、p.110）
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります。（p.109）
カレンダー表示時は、選択日付の9画面表示に変わります。（p.109）

カメラの機能を設定する

カメラの設定を変更するには、**MENU** ボタンを押して、「◘ 撮影」メニューと「🔧設定」メニューを呼び出します。また、画像や音声の再生・編集に関するメニューは、再生モードパレットから呼び出します。

メニューで設定する

◘モードで**MENU**ボタンを押すと、「◘撮影」メニューが表示されます。
▶モードで**MENU**ボタンを押すと、「🔧設定」メニューが表示されます。

メニュー操作中は、使用するボタンやキーの機能が液晶モニターにガイド表示されます。

例）「📷撮影」メニューの「画質」の設定をする

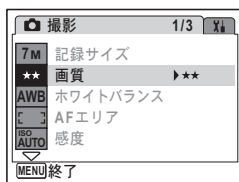
1　📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▼）を押す

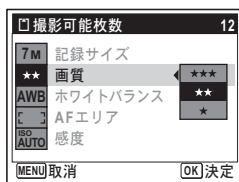
選択枠が「記録サイズ」に移動します。

3　十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

4　十字キー（▶）を押す

選べる内容がポップアップで表示されます。
ポップアップには、現在のカメラの条件で選べる設定が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で設定を切り替える

十字キー（▲▼）を押すたびに、画質が切り替わります。

設定の保存方法、変更の取り消し方法については、次のページをご覧ください。

設定を保存して撮影をしたいとき

6 シャッターボタンを半押しする

設定が保存され、撮影できる状態になります。
全押しすると、写真が撮影されます。

設定を保存して再生をしたいとき

6 ▶ボタンを押す

設定が保存され、再生できる状態になります。

設定を保存して続いてメニュー操作をしたいとき

6 OK ボタンまたは十字キー（◀）を押す

設定が保存され、手順3に戻ります。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

6 MENUボタンを押す

変更が取り消され、手順3に戻ります。

MENUボタンの機能は、画面によって異なります。ガイド表示を参照してください。

MENU 終了 ：メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。
MENU ⮌ ：現在の設定のまま、手順3の画面に戻ります。
MENU 取消 ：現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、手順3の画面に戻ります。

メニュー一覧

メニュー画面で設定できる項目とその内容を示します。カメラの電源をオフにしたとき設定を維持するかどうか、リセットしたときに初期設定に戻すかどうかについては、付録の「初期設定一覧」（p.166）をご覧ください。

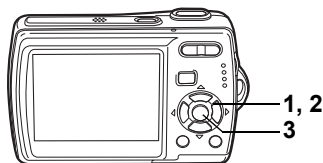
「撮影」メニュー

撮影に関するメニューです。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th><th>参照</th></tr>
<tr><td colspan="2">記録サイズ</td><td>静止画像の記録サイズを選びます。</td><td>p.83</td></tr>
<tr><td colspan="2">画質</td><td>静止画像の画質を選びます。</td><td>p.85</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホワイトバランス</td><td>撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。</td><td>p.87</td></tr>
<tr><td colspan="2">AFエリア</td><td>オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。</td><td>p.89</td></tr>
<tr><td colspan="2">感度</td><td>感度を設定します。</td><td>p.90</td></tr>
<tr><td colspan="2">露出補正</td><td>撮影する画像全体の明るさを調整します。</td><td>p.76</td></tr>
<tr><td rowspan="5">動画</td><td>記録サイズ</td><td>動画の記録サイズを選びます。</td><td>p.100</td></tr>
<tr><td>画質</td><td>動画の画質を選びます。</td><td>p.102</td></tr>
<tr><td>フレームレート</td><td>フレームレート（1秒間に撮る画面数）を設定します。</td><td>p.103</td></tr>
<tr><td>カラーモード</td><td>動画のカラーモードを選びます。</td><td>p.104</td></tr>
<tr><td>動画手ぶれ補正</td><td>手ぶれ補正を使うかどうかを設定します。</td><td>p.105</td></tr>
<tr><td colspan="2">デジタルズーム</td><td>デジタルズーム撮影を使うかどうかを設定します。</td><td>p.75</td></tr>
<tr><td colspan="2">クイックビュー</td><td>クイックビューの表示時間を設定します。</td><td>p.92</td></tr>
<tr><td colspan="2">モードメモリ</td><td>電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリーするか、初期設定に戻すかを設定します。</td><td>p.96</td></tr>
<tr><td colspan="2">シャープネス</td><td>画像の境界をハードまたはソフトにします。</td><td>p.93</td></tr>
<tr><td colspan="2">彩度</td><td>色の鮮やかさを設定します。</td><td>p.94</td></tr>
<tr><td colspan="2">コントラスト</td><td>画像の明暗差の度合いを設定します。</td><td>p.95</td></tr>
</table>

- 「撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定で手軽に撮影を楽しみたいときは、グリーンモードを利用してください。（p.64）
- よく使うメニューは、グリーンボタンに登録しておくと、すばやく呼び出せます。（p.56）

「設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットします。	p.148
サウンド	音量、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。	p.149
日時設定	日付、時刻、それぞれの表示スタイルを設定します。	p.151
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.153
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を設定します。	p.155
フォルダ名	画像や音声を保存するフォルダの命名方法を設定します。	p.156
USB接続	USBケーブルの接続先（パソコンまたはプリンター）を設定します。	p.157
ビデオ出力	AV機器へのビデオ出力形式を設定します。	p.158
オートディマー	オンにすると周囲の明るさに応じて液晶モニターの明るさを自動調整します。	p.159
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。	p.160
クイック拡大	静止画再生中にズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を一度押すだけで、画面を最大倍率に拡大するように設定します。	p.111
グリーンボタン	撮影モード時にグリーンボタンで呼び出す機能を設定します。	p.56
ガイド表示	撮影モードパレット、再生モードパレットで、アイコンを選択したときに説明を表示するかどうかを設定します。	p.161
リセット	日時、言語、ビデオ出力以外の設定内容をご購入時の状態に戻します。	p.162

撮影モードを設定する

Optio M20には、多彩な撮影モードが用意されており、撮影モードパレットで撮影するシーンに合った撮影モードを選ぶだけで手軽にぴったりの雰囲気の写真の撮影、動画の記録、音声の録音ができます。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で撮影モードを選択する

撮影モードを選択して約2秒経過すると、選択中の撮影モードの説明が表示されます。（p.60）

説明を表示させないように設定することもできます。設定方法は、「ガイド表示を設定する」（p.161）をご覧ください。

3　OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

- P、動画、マイク、((人))、♥以外の撮影モードでは、ストロボ発光の有無、ピント位置、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスなどが自動的に各モードに最適な値に設定されています。
- 撮影モードによっては、一部の機能が設定できなかったり、設定できても動作に反映されない場合があります。詳しくは、「撮影モードごとの使える機能／使えない機能」(p.169) をご確認ください。
- フォーカスモードを**MF**に設定し、フォーカス位置を調整している間 (p.80) は、十字キー (▼) を押しても撮影モードパレットは表示されません。

撮影モードには、次の15のモードがあります。

① AUTO PICT オートピクチャー

撮影モードの選択をカメラにまかせて撮影します。(p.61)

② P プログラム

一般的な撮影に適しています。さまざまな機能を設定して撮影することもできます。(p.62)

③ 夜景

夜景撮影に最適です。三脚などで固定して撮影してください。人物も入る場合はストロボを発光させてください。(p.66)

④ 動画

動画を撮影するときに設定します。音声も同時に記録されます。(p.98)

⑤ ボイスレコーディング

音声を記録するときに設定します。マイクを手でふさがないように注意してください。(p.143)

⑥ 風景

風景の撮影に適しています。広い範囲にピントが合うようになっています。

⑦ **花**

花をきれいに撮影するのに適しています。花の輪郭を柔らかめに表現します。

⑧ **ポートレート**

人物を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。

⑨ **サーフ＆スノー**

砂浜や雪山など、背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。

⑩ **スポーツ**

動きの速いものを撮影するのに最適です。シャッターを切るまで動くものにフォーカスを合わせ続けます。

⑪ **ぶれ軽減**

ぶれを軽減して撮影するために、より高い感度を使用します。（p.63）

⑫ **キッズ**

動きの多い子供を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。

⑬ ペット

ペットを撮影するのに最適です。シャッターを切るまで動き回るペットにフォーカスを合わせ続けます。ペットの毛色に合わせた撮影をすることもできます。（p.71）

⑭ 料理

料理の撮影に適しています。彩度をやや高めにし、色鮮やかに仕上げます。

⑮ フレーム合成

フレーム付きの画像を撮影します。記録サイズは、3M に固定されます。（p.67）

特定のメニューをすばやく呼び出す

グリーンボタンにメニュー項目を登録すると、そのメニュー項目を、グリーンボタンを押すだけで、すばやく呼び出すことができます。露出補正や感度、ホワイトバランスなど、よく使う機能を登録しておくと、少ない操作で設定ができます。

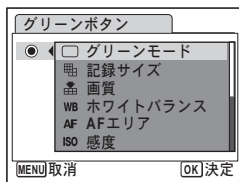
- グリーンボタンに登録できるのは、グリーンモード、記録サイズ、画質、ホワイトバランス、AFエリア、感度、露出補正、シャープネス、彩度、コントラストです。
- ご購入時の状態では、グリーンモードが設定されています。
- 「グリーンボタン」の設定は「設定」メニューの「リセット」でご購入時の状態に戻せます。
- グリーンボタンに登録した機能は、元のメニュー（「撮影」「設定」）でも同じように使用できます。
- 同じ項目について、グリーンボタンで表示するメニューと元のメニューで別々の設定を登録することはできません。

グリーンボタンに登録する

1　「設定」メニューの「グリーンボタン」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

「グリーンボタン」画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で設定する機能を選び、OKボタンを押す

4　MENUボタンを押す

設定した内容で撮影できる状態になります。

3 機能共通操作

グリーンボタンを使う

1　📷モードでグリーンボタンを押す

「🔧設定」メニューの「グリーンボタン」で割り当てた機能が呼び出されます。

グリーンボタンに割り当てられている機能

2　十字キー（◀▶）で設定を変更し、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

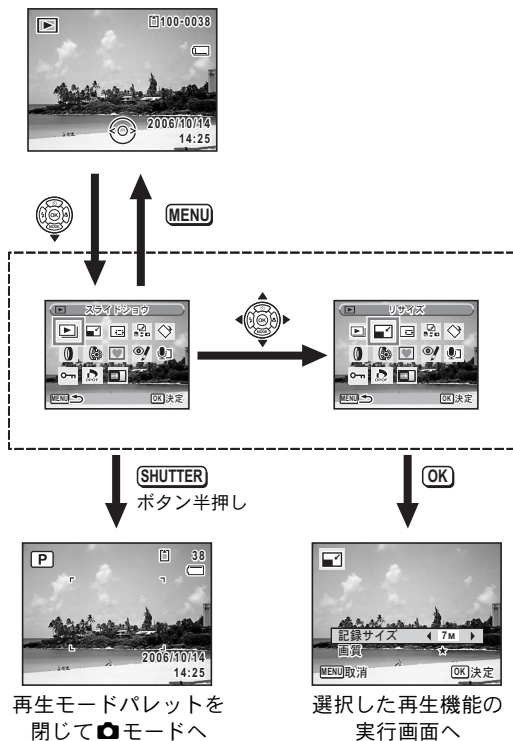
- グリーンボタンにグリーンモードを割り当てている場合、グリーンボタンを押した1.5秒後にグリーンモード（p.64）になります。
- グリーンモード以外の機能を割り当てている場合、グリーンボタンを押した後に5秒間何もしないと元の画面に戻ります。

3
機能共通操作

再生モードを設定する

再生中に十字キー（▼）を押すと再生モードパレットが表示されます。十字キー（▲▼◀▶）を使ってアイコンを選び、**OK** ボタンを押すだけで、使用したい再生機能を呼び出すことができます。

再生モードパレットを閉じて📷モードへ

選択した再生機能の実行画面へ

再生モードパレット一覧

項目		内容	参照
	スライドショウ	保存された画像を連続して再生します。	p.113
	リサイズ	画像の記録サイズと画質を変更します。	p.124
	トリミング	画像周囲の不要な部分をカットします。	p.126
	画像/音声コピー	内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声をコピーします。	p.127
	画像回転	撮影した静止画を回転表示します。	p.42
	デジタルフィルタ	撮影した静止画の色調を変更します。	p.129
	明るさフィルタ	撮影した静止画の明るさを変更します。	p.130
	フレーム合成	撮影した静止画に飾り枠を合成します。	p.131
	赤目補正	ストロボ撮影で人物の目が赤く写った静止画を補正します。	p.133
	ボイスメモ	撮影した静止画に音声(ボイスメモ)を付けます。	p.146
	プロテクト	画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。	p.122
DPOF	DPOF	撮影した静止画にDPOF設定をします。	p.134
OPTIO	起動画面設定	起動画面を設定します。	p.163

撮影／再生モードの説明を見る

「ガイド表示」(p.161) が☑（オン）のときは、撮影モードパレットや再生モードパレットで選択中のモードの説明が表示されます。

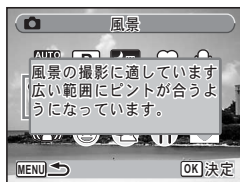
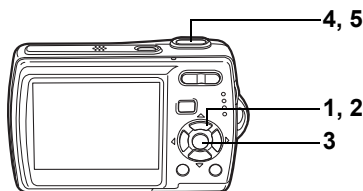
1 ◘モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。
▶モードで十字キー（▼）を押すと、再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で撮影モードを選択する

▶モードの場合は、再生モードを選択します。
モードを選択して約2秒経過すると、選択中のモードの説明が表示されます。

3 OK ボタンを押す

選択した撮影モードで撮影できる状態になります。
▶モードの場合は、選択した再生モードの設定画面が表示されます。

撮影する

AUTO PICT

カメラに撮影モード選びをまかせて撮影する（オートピクチャーモード）

AUTO PICT（オートピクチャーモード）では、シャッターを押すだけで、カメラがシーンに応じて☺（標準モード）、夜景（夜景モード）、風景（風景モード）、ポートレート（ポートレートモード）の中から最適な撮影モードを選びます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、AUTO PICT（オートピクチャー）を選ぶ

3　OKボタンを押す

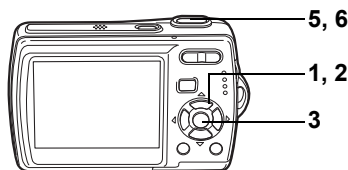
撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わり、選択された撮影モードが液晶モニター左上に表示されます。

5　シャッターボタンを全押しする

- AUTO PICTモードでは、露出補正は±0.0に固定されます。（p.76）
- AUTO PICTモードでは、AFエリアはマルチに固定されます。（p.89）
- AUTO PICTモードでは、連続撮影はできません。
- 初期設定では、撮影モードはAUTO PICTモードに設定されています。

静止画を撮影する ☞p.39

P

カメラまかせで撮影する（プログラムモード）

P（プログラムモード）では、シャッター速度と絞り値をカメラが自動的に設定して撮影します。ストロボの発光方式や記録サイズなどその他の機能は自由に設定できます。

1　📷モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、P（プログラム）を選ぶ

3　OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4　必要に応じて使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」(p.79～p.95) をご覧ください。

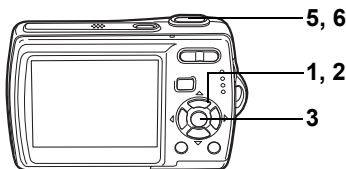
5　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

4 撮影

((♟))

手ぶれや被写体ぶれを軽減して撮影する（ぶれ軽減モード）

((♟))（ぶれ軽減モード）では、感度を自動的に高感度に設定することで、撮影時の手ぶれや被写体ぶれを軽減して撮影します。また、シャッター速度と絞り値もカメラが自動的に設定します（シャッター速度は1/15秒より遅くならないように設定されます）。ストロボの発光方式や記録サイズなどその他の機能は自由に設定できます。

1 ◘モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、((♟))（ぶれ軽減）を選ぶ

3 OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4 必要に応じて使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」（p.79～p.95）をご覧ください。

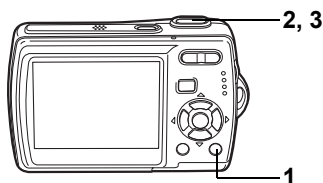
5 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

撮影モードが((♟))に設定されているときは、64～1600の間で自動調整されます。（p.91）

4
撮影

簡単撮影モードで撮影する（グリーンモード）

グリーンモードでは、「◘撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定（※）で手軽に撮影を楽しめます。

1　◘モードでグリーンボタンを押す

グリーンモードに切り替わります。
もう1回グリーンボタンを押すと、グリーンモードに入る前の撮影モードに戻ります。

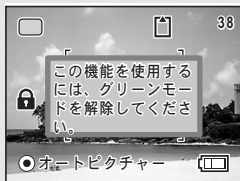
2　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3　シャッターボタンを全押しする

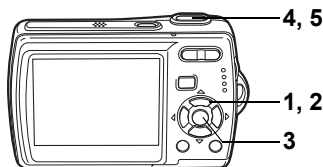
撮影されます。

- グリーンボタンに他の機能を登録している場合は、グリーンモードには入らず、登録している機能が表示されます。（p.56）
- グリーンモードでは、**OK**/**DISPLAY** ボタンを押して情報表示を切り替えることはできません。
- グリーンモードでは、「撮影」メニューや撮影モードパレットを使用できません。「撮影」メニューや撮影モードパレットを表示させようとすると（キーロック表示）とメッセージが表示されます。

- グリーンモードから モードに移行した場合、**MENU** ボタンを押しても、「設定」メニューを表示できません。「設定」メニューを表示させようとすると（キーロック表示）とメッセージが表示されます。
- 撮影モードをグリーンモードにしたまま電源をオフにすると、次回もグリーンモードで起動します。

※ グリーンモードでの設定値は、以下のとおりです。

ストロボモード	（オート）※1
ドライブモード	（標準）※2
フォーカスモード	**AF**（標準）※3
情報表示	標準
記録サイズ	7M
画質	★★（ファイン）
ホワイトバランス	**AWB**（オート）
AFエリア	（マルチ）
感度	オート
露出補正	±0.0
デジタルズーム	（オン）
クイックビュー	1秒
シャープネス	（標準）
彩度	（標準）
コントラスト	（標準）

※1 （発光禁止）に設定可能
※2 （10秒セルフタイマー）、（2秒セルフタイマー）に設定可能（グリーンモード以外の撮影モードで設定した方が使用可能）
※3 （マクロ）、（スーパーマクロ）に設定可能

4
撮影

暗いシーンを撮影する（夜景モード）

（夜景モード）では、夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（夜景）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

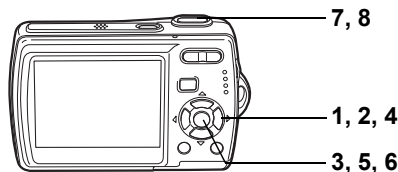
撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなります。
- モードでは、連続撮影はできません。
- 手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。（p.72）

フレームをつけて撮影する（フレーム合成モード）

（フレーム合成モード）では、カメラに保存されているフレームに合わせて撮影することができます。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で（フレーム合成）を選ぶ

3 OKボタンを押す

フレーム選択の9分割画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼◀▶）で使用するフレームを選ぶ

5 OKボタンを押す

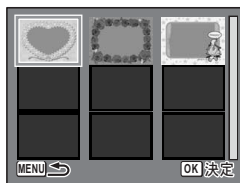
選んだフレームが1画面表示されます。
フレームは次の方法で選びなおすことができます。

- 十字キー (◀▶) を押して別のフレームを選択する
- **MENU** ボタンまたはズーム/ / ボタンの を押して、フレーム選択の9分割画面に戻り、手順4と同様の操作で別のフレームを選択する

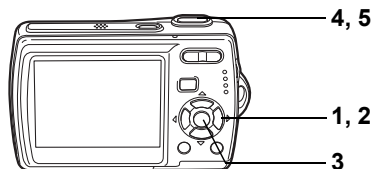
6 OKボタンを押す

フレーム付きの撮影画面が表示されます。

7 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

8　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- フレーム撮影の記録サイズは3Mに、画質は★★に固定されます。
- モードでは、連続撮影はできません。

人物を撮影する（ポートレートモード）

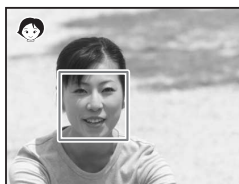
（ポートレートモード）では、顔認識AFと顔認識AEが働きます。人物の正面にカメラを向けるだけで顔の位置を自動的に認識し、フォーカスを合わせ（顔認識AF）、露出を調整（顔認識AE）して撮影します。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、（ポートレート）を選ぶ

3 OK ボタンを押す

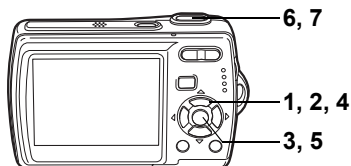
撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。
液晶モニター内の被写体の顔を認識すると、顔の位置に黄色いフォーカスフレームが表示されます。被写体が動くと、フォーカスフレームが顔の位置を追尾してフォーカスフレームの大きさ、位置が変化します。

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 被写体の顔が認識できない場合、通常のAFエリア（マルチ）でフォーカスを合わせます。
- モードでは、デジタルズーム機能は使用できません。
- モードでは、連続撮影はできません。
- モードでは、液晶モニターに とフォーカスフレームだけが表示されます。その他の撮影情報は表示されません。また**OK/DISPLAY**ボタンを押して表示を切り替えることはできません。
- 被写体がサングラスをかけるなどして顔の一部がさえぎられている場合や、顔の向きが正面でない場合は、顔認識AFと顔認識AEが働かないことがあります。

（　　）

ペットを撮影する（ペットモード）

（ペットモード）では、動き回るペットにフォーカスを合わせ続け、ペットの毛色を活かしてきれいに写すことができます。撮りたいペットの毛色が白っぽいか、黒っぽいか、中間の色かでアイコンの色を選択してください。

1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◄►）で（ペット）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

ペットモードの選択画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）でを選ぶ

ペットアイコンには犬柄と猫柄の2タイプがあります。
（犬アイコンと猫アイコンは絵柄が違うだけで、撮影結果に与える効果は同じです。お好みで使い分けてください。）

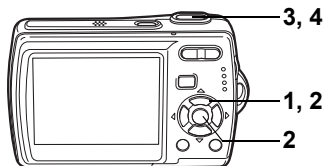
5　OK ボタンを押す

ペットモードが選択され、撮影できる状態になります。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。
シャッターボタンを半押しし続けている間、フォーカスフレームがペットを追い続けます。

7　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒または2秒後に撮影されます。セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚などに固定してください。

セルフタイマー	撮影者も含めて集合写真を撮る場合などに利用できます。 シャッターボタンを押してから約10 秒後に撮影されます。
2秒セルフタイマー	シャッターボタンを押してから2秒後に撮影されますので、手ぶれを避けるために利用できます。

1 モードで十字キー（▲）を押す

2 十字キー（◀▶▼）を押して、セルフタイマーまたは2秒セルフタイマーを選択し、OK ボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。

3 シャッターボタンを半押しする

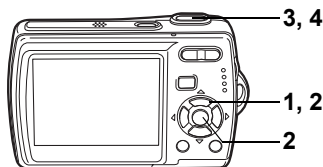
ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

10秒後または2秒後に撮影されます。

注意

静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

- モードでは、10秒（または2秒）後に動画撮影が始まります。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しするとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直します。
- 2秒セルフタイマーは モードの初期設定では選べません。ただし、他の撮影モードで2秒セルフタイマーを選んでから、撮影モードを モードに切り替えると、選べるようになります。

連続して撮影する

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

▣	連続撮影	1枚撮影するごとに、画像をメモリーに書き込み、続いて次の静止画を撮影します。高画質の画像ほど、撮影間隔が長くなります。

1 ◘モードで十字キー（▲）を押す

2 十字キー（◀▶）で ▣（連続撮影）を選び、OK ボタンを押す

連続撮影できる状態になります。

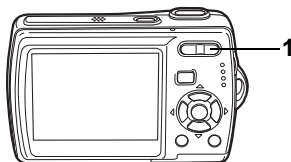
3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

シャッターボタンを押し続けている間、連続して写真が撮影されます。

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- ▦、AUTO PICT、◩、🎥、🎙、☺、♡モードでは、連続撮影はできません。

- SD メモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。
- ピント、露出、ホワイトバランスは、1枚目で固定されます。

ズームを使って撮影する

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

1 モードでズーム/ / ボタンを押す

望遠：被写体を拡大して写す

広角：被写体を広い範囲で写す

ズームバーで現在の拡大状況が確認できます。

を押す

デジタルズーム機能が□（オフ）のときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能が☑（オン）のときは、光学ズームと合わせて最大約12倍相当まで拡大して撮影できます。

- 高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも画像の細密さが低下します。
- モードでは、デジタルズーム機能は使用できません。

デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは☑（オン）に設定されています。光学ズーム領域だけを使って撮影したい場合は、□（オフ）に設定します。

1 📷モードでMENUボタンを押す

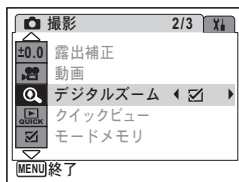
「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替える

選んだ設定で保存されます。

4 MENUボタンを押す

設定を終了して、撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能の設定を保存する ☞p.96

露出を補正する

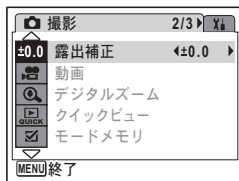
撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。

撮影 2/3
±0.0 露出補正 ◀±0.0 ▶
動画
デジタルズーム
クイックビュー
モードメモリ
MENU 終了

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）を押して、補正量を選ぶ

選んだ補正量で保存されます。
明るくする場合は+側に、暗くする場合は–側に設定します。
露出補正の値は、–2.0EV～+2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

4 MENUボタンを押す

設定を終了して、撮影できる状態になります。

- 露出補正機能をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.56）
- ヒストグラムを表示すると、液晶モニター上に白とび、黒つぶれ個所が表示され、露出が適切かどうかを確認できます。（p.78）
- 、AUTO PICT モードでは、露出補正は±0.0に固定されます。

露出補正値を保存する ☞p.96

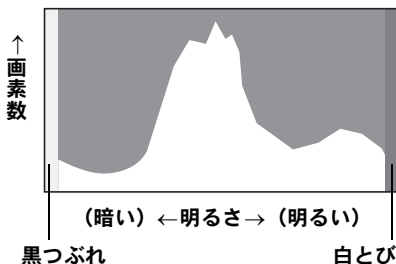
4 撮影

撮影情報を確認する

OK/DISPLAY ボタンを押すたびに、液晶モニターの表示が「通常表示」「ヒストグラム＋情報表示」「情報表示なし」に切り替わります。
表示内容の詳細は、「画面の表示」（p.16）をご覧ください。

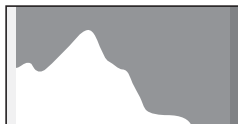
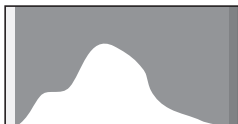
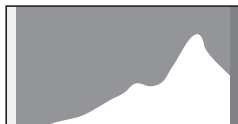
- 手ぶれしやすい条件のとき、が表示されます。手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。（p.72）
- モードでは、液晶モニターにとフォーカスフレームだけが表示されます。その他の撮影情報は表示されません。**OK/DISPLAY** ボタンを押して表示を切り替えることはできません。

ヒストグラムを使う

ヒストグラムとは、画像の明るさの分布を表したグラフです。横軸は明るさ（左端は黒、右端は白）を、縦軸は各明るさごとの画素数を示します。
撮影前や撮影後にヒストグラムの形状を見ることで、画像の明るさと明暗差が適正かどうかを確認し、露出補正や撮り直しの判断にご利用いただけます。

露出を補正する ☞p.76

画像の明るさを見る

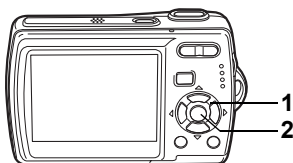
画像の明るさが適正な画像では、グラフの山は中央にあります。しかし、暗い画像ではグラフの山は左側に偏り、明るい画像では右側に偏ります。

暗い画像

適正な明るさの画像

明るい画像

また、画像の中で、暗過ぎてヒストグラムの左端よりも左に来てしまう部分は真っ黒になり（黒つぶれ）、明る過ぎてヒストグラムの右端よりも右に来てしまう部分は真っ白になってしまいます（白とび）。
Optio M20には、黒つぶれ部分を黄色く、白とび部分を赤く点滅表示させる機能があります。

撮影情報を確認する ☞p.77
撮影時の情報を表示する ☞p.112

明暗差のバランスを見る

明暗差のバランスが取れた画像では、グラフの中央部になだらかな山のピークが来ます。しかし、明暗差が激しく、中間的な明るさの部分が少ない画像では、左右に山のピークが来て、中央部分がくぼんだグラフになります。

撮影のための機能を設定する

ピントの合わせ方を選ぶ（フォーカスモード）

フォーカスモード

AF	標準	被写体までの距離が40cm（望遠時は60cm）以上のときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
🌷	マクロ	被写体までの距離が約10cm～約1mのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
s🌷	スーパーマクロ	被写体までの距離が約5cm～約40cmのときに使用します。シャッターボタンを半押したときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。ズームはデジタルズームのみになります。
▲	無限遠	遠くにあるものを撮影するときに使用します。ストロボは⚡（発光禁止）となります。
PF	パンフォーカス	他の人に撮ってもらうときや、車や電車の窓越しに外の風景を撮るときなどに使用します。手前から奥までシャープにピントが合うようになります。
MF	マニュアルフォーカス	手動でピントを合わせます。

1 📷モードで十字キー（▶）を押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。

2 OKボタンを押す

フォーカスモードが保存され、撮影できる状態になります。

モードでは、**AF**と、のみ選択できます。

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）☞p.80
フォーカスモードを保存する ☞p.96

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

MFでの設定方法を説明します。

1　モードで十字キー（▶）を押す

2　十字キー（▶）を押して**MF**を選び、OKボタンを押す

ピント合わせ中は、画面中央部が液晶モニターいっぱいに拡大して表示されます。

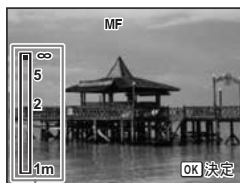
3　十字キー（▲▼）を押す

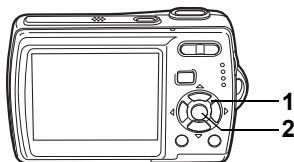
液晶モニターに**MF**バーが表示され、おおよその距離が表示されます。これを目安に十字キー（▲▼）でピントを合わせます。

▲　：遠くにピントが合う
▼　：近くにピントが合う

MFバー

4　OKボタンを押す

フォーカス位置が決まり、撮影できる状態になります。
十字キーから手を離して5秒以上経過した場合も、フォーカス位置が決まります。
フォーカス位置を決定させた後、もう一度十字キー（▶）を押すと、**MF**バーが表示され、十字キー（▲▼）でピントを合わせ直すことができます。

MF調整中は、撮影モードやドライブモードを変更できません。

MFから他のフォーカスモードに切り替えるときは、**MF**バーが表示されている間に十字キー（▶）を押してください。

ストロボの発光方法を選択する

ストロボの発光方法

⚡A	オート	暗いときや逆光のときにストロボを発光します。
⊛	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。ストロボの使えない場所での撮影にご利用ください。
⚡	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
👁A	オート＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
👁⚡	強制＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。
SOFT⚡	ソフト	ストロボの光量を絞り、近い距離でストロボを発光しても、明るすぎないようにします。常にストロボを発光します。

- 撮影モードが🎥、ドライブモードが連写、フォーカスモードが▲に設定されているときは、常に⊛（発光禁止）になります。
- 赤目軽減機能を使用した場合は、本発光の前にプリ発光（予備発光）を行います。
- ▦モードでは、⚡Aと⊛のみ選択できます。

1 📷モードで十字キー（◀）を押す

押すたびに発光方法が切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。

2 OKボタンを押す

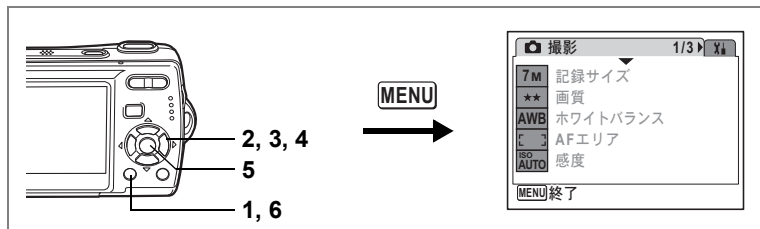
選択したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

[ストロボ撮影の赤目現象について]

ストロボ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にストロボの光が反射して発生する現象です。赤目現象は、人物の周りを明るくしたり、撮影距離を近くして広角側で撮影すると、発生しにくくなります。また、ストロボの発光方法を（オート＋赤目）や（強制＋赤目）にするのも有効です。

ストロボ発光方法を保存する ☞p.96

4

撮影

記録サイズを選択する

静止画像の記録サイズ（記録画素数）を7種類から選べます。
記録サイズが大きいほど、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。ただし、写真のきれいさには画質や露出制御、使用するプリンターの解像度なども関係してきますので、むやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、2M（1600×1200）程度が目安となります。記録サイズが大きくなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。ただし、画像の容量は画質の設定（p.85）によっても異なります。

記録サイズ

記録サイズ		用途
7M 3072×2304	鮮明、きれい ↑	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など
5M 2560×1920		
4M 2304×1728		
3M 2048×1536		
2M 1600×1200		はがきサイズプリントなど
1024 1024× 768		
640 640× 480		ホームページ掲載、電子メール添付など

1　モードでMENUボタンを押す

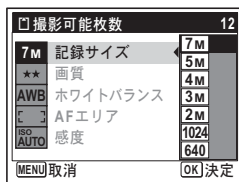
「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

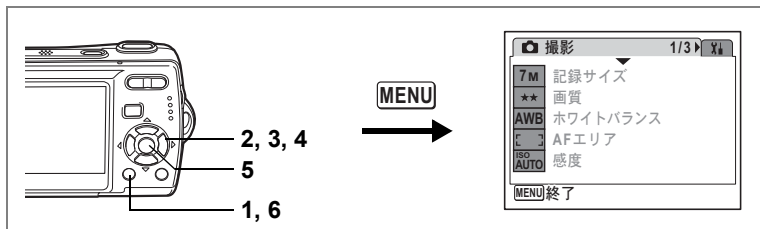
記録サイズを切り替えると、その記録サイズでの撮影可能枚数が画面に表示されます。

5 OK ボタンを押す

記録サイズの設定が保存されます。

6 MENU ボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- 撮影モードが[ペット]に設定されているときは、記録サイズは3M、画質は★★に固定されます。
- 撮影モードが[動画]に設定されているときは、撮影メニューの「動画」で設定された「記録サイズ」で撮影されます。（p.100）
- 「記録サイズ」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.56）

静止画の記録サイズと画質 ☞p.29

画質を選択する

静止画像の画質（圧縮率）が選べます。
★の数が多いほど、圧縮率は低くなり、画像はきれいになりますが、容量も増えます。ただし、画像の容量は、記録サイズの設定（p.83）によっても異なります。

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

1 Aモードで MENUボタンを押す

「A撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

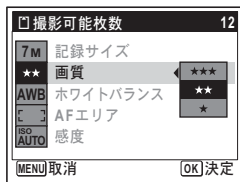
4 十字キー（▲▼）で画質を切り替える

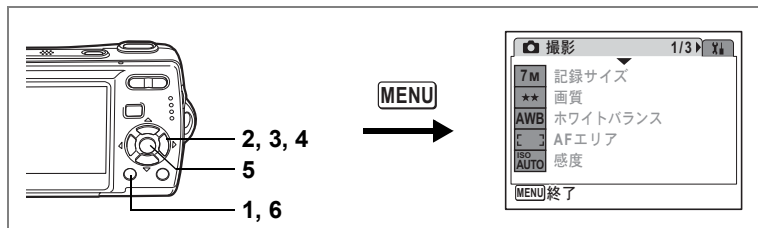
画質を切り替えると、その画質での撮影可能枚数が画面に表示されます。

5 OKボタンを押す

画質の設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- 撮影モードが💗に設定されているときは、画質は★★に固定されます。
- 撮影モードが🎥に設定されているときは、撮影メニューの「動画」で設定された「画質」で撮影されます。（p.102）
- 「画質」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.56）

静止画の記録サイズと画質 ☞p.29

ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色合いに調整する度合いを設定します。

ホワイトバランス

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
太陽光アイコン	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
日陰アイコン	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
白熱灯アイコン	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
蛍光灯アイコン	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
マニュアルアイコン	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「ホワイトバランス」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で設定を選ぶ

5 OKボタンを押す

ホワイトバランスの設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。
マニュアルで設定する場合は、p.88をご覧ください。

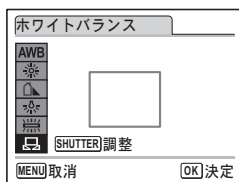
「ホワイトバランス」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。(p.56)

ホワイトバランスを保存する ☞p.96

マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

1 「ホワイトバランス」画面で十字キー(▲▼)を押して (マニュアル)を選ぶ

2 ホワイトバランスの調整に用いる素材(白い紙など)にレンズを向け、液晶モニター画面中央に表示されている枠の中に素材が入るよう、カメラを構える

3 シャッターボタンを全押しする

ホワイトバランスが自動的に調整されます。

4 OKボタンを押す

今行った設定が保存され、「 撮影」メニューに戻ります。

5 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

4
撮影

オートフォーカス範囲を設定する（AFエリア）

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

AFエリア

〔　〕	マルチ	通常範囲に設定します。
〔〕	スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。
≡〔〕	自動追尾	動き回る被写体にフォーカスを合わせ続けます。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

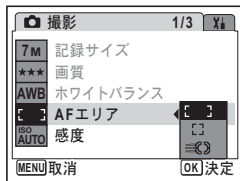
ポップアップが表示されます。

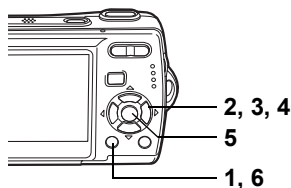
4 十字キー（▲▼）でAFエリアを切り替える

5 OKボタンを押す

AFエリアの設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- モードで選べる「AFエリア」は、〔　〕（マルチ）と〔〕（スポット）のみです。
- AUTO PICT、モードでは、「AFエリア」は〔　〕（マルチ）に固定されます。
- モードでは、撮影メニューでAFエリアを選ぶことはできますが、撮影中はフォーカスモードが**PF**固定になります。（p.79）
- 「AFエリア」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.56）

4
撮影

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

感度

オート	64～400までの間で自動調整されます。
64	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ない画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を早くできます。画像にはノイズが増えます。
100	
200	
400	
800	
1600	

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

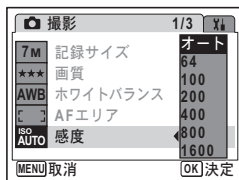
4 十字キー（▲▼）で感度を選ぶ

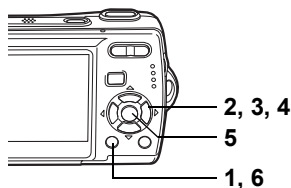
5 OKボタンを押す

感度の設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

4 撮影

- 撮影モードが《👤》に設定されているときは、64～1600の間で自動調整されます。
- 「感度」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.56）

感度を保存する ☞p.96

クイックビューの時間を設定する

クイックビュー（撮影直後の画像表示）の時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、5秒、オフ（表示しない）から選びます。

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「クイックビュー」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

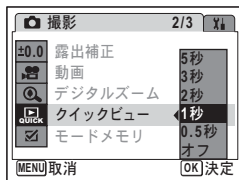
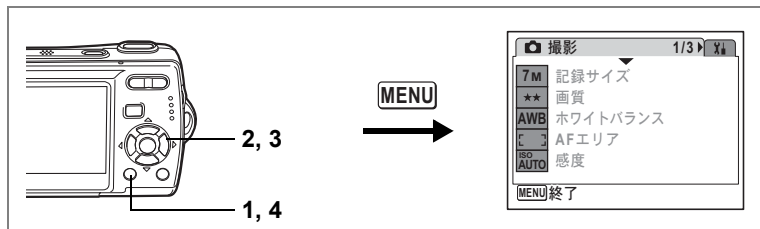
ポップアップが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で表示時間を選ぶ

5　OKボタンを押す

クイックビューの設定が保存されます。

6　MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

クイックビュー ☞p.40

シャープネスを設定する

画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「シャープネス」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）でシャープネスの強さを切り替える

下記の設定で保存されます。

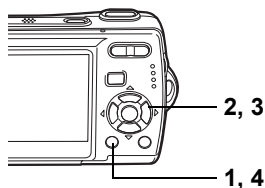
（ソフト）

（標準）

（ハード）

4 MENUボタンを押す

保存されたシャープネスで、撮影できる状態になります。

「シャープネス」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.56）

彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

1　📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

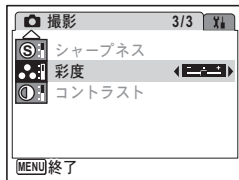
2　十字キー（▲▼）を押して「彩度」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で彩度の高さを切り替える

下記の設定で保存されます。

（低）
（標準）
（高）

4　MENUボタンを押す

保存された彩度で、撮影できる状態になります。

「彩度」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.56）

コントラストを設定する

画像の明暗差の度合いを設定します。

1　モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「コントラスト」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）でコントラストの高さを切り替える

下記の設定で保存されます。

（低）
（標準）
（高）

4　MENUボタンを押す

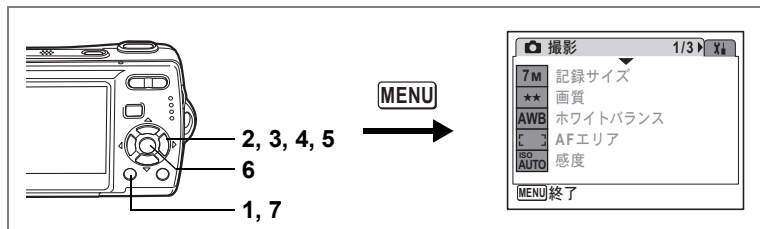
保存されたコントラストで、撮影できる状態になります。

「コントラスト」をよく使う場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます。（p.56）

4 撮影

設定を保存する（モードメモリ）

カメラの電源をオフにしても、カメラの諸設定を維持する機能を「モードメモリ」と呼びます。
撮影のための設定には、モードメモリが常に☑（オン）のもの（電源をオフにしても常に設定を維持するもの）と、モードメモリのオン／オフが選べるもの（電源をオフにしたときに設定を維持するかどうかを選べるもの）があります。モードメモリのオン／オフが選べる項目を表に示します。（ここに示した以外の項目は、電源をオフにしても常に設定が保存されます）☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリーします。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときにその項目の設定がご購入時の状態に戻ります。表では、モードメモリの初期設定がオンの状態なのか、オフの状態なのかも示しています。

項目	内容	初期設定
ストロボモード	十字キー（◀）で設定したストロボモード（p.81）	☑
ドライブモード	十字キー（▲）で設定したドライブモード（p.72、p.73）	□
フォーカスモード	十字キー（▶）で設定したフォーカスモード（p.79）	□
ズーム位置	ズーム/♣♣♣/♣ボタンで設定したズーム位置（p.74）	□
MF位置	十字キー（▲▼）で設定したマニュアルフォーカスでのピントの合う距離（p.80）	□
ホワイトバランス	「◘撮影」メニューの「ホワイトバランス」での設定（p.87）	□
感度	「◘撮影」メニューの「感度」で設定した値（p.90）	□
露出補正	「◘撮影」メニューの「露出補正」で設定した値（p.76）	□
デジタルズーム	「◘撮影」メニューの「デジタルズーム」での設定（p.75）	☑
DISPLAY	**OK**/**DISPLAY** ボタンで設定した液晶モニターの情報表示状態（p.77、p.112）	□
ファイルNo.	オンにすると、SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連続したファイル番号を使用	☑

1　📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

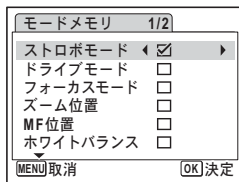
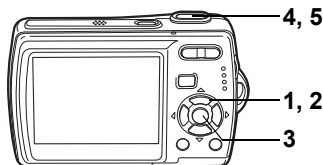
「モードメモリ」画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替える

6　OKボタンを押す

モードメモリの設定が保存されます。

7　MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

4

撮影

動画を撮影する

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

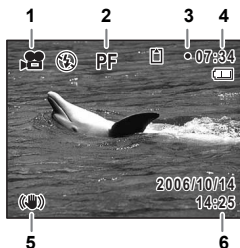
1　モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（動画）を選ぶ

3 OKボタンを押す

モードが選択され、撮影できる状態になります。
液晶モニターに次の情報が表示されます。

1 動画モードアイコン
2 フォーカスモードアイコン（**PF**固定）
3 録画中アイコン（手順 4 で撮影が開始されると表示され、録画中に点滅します）
4 撮影可能時間
5 手ぶれ補正アイコン（動画手ぶれ補正がオンのとき表示されます。p.105）
6 現在の日時（録画中は表示されません）

ズーム/ / ボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

 ：被写体を拡大して写す
 ：被写体を広い範囲で写す

4 シャッターボタンを全押しする

撮影が開始されます。

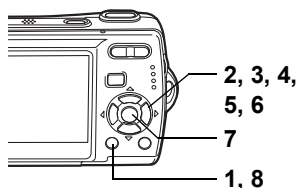
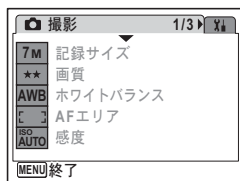
- モードでは、ストロボは発光しません。
- モードでは、フォーカスモードが**PF**固定になります。（p.79）
- 撮影開始前は光学ズームとデジタルズームが、撮影中はデジタルズームのみが使用できます。
- 動画撮影中は、**OK**/**DISPLAY** ボタンを使って液晶モニターの表示を切り替えても、ヒストグラムは表示されません。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影が終了します。

動画を再生する ☞p.115

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画の記録サイズを選択する

動画の記録サイズを「640 640×480」、「320 320×240」から選べます。記録サイズが大きくなるほど、ファイルの容量も増えます。画像の容量はフレームレートの設定によっても異なります。（p.30）

動画の記録サイズ

640 （640×480）	テレビやパソコンの画面で動画を見るときに適しています。
320 （320×240）	電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「記録サイズ」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

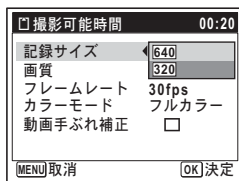
ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

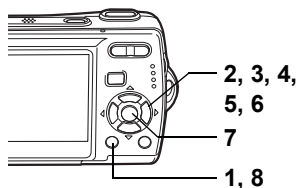
記録サイズを切り替えると、その記録サイズでの撮影可能時間が画面に表示されます。

7 OKボタンを押す

記録サイズの設定が保存されます。

4
撮影

8 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画の記録サイズ、画質、フレームレート ☞p.30

動画の画質を選択する

動画の画質を設定します。画質を大きい値に設定するほど鮮明な動画になりますが、ファイルサイズが増えます。

動画の画質

★★★	S.ファイン	▲ 鮮明な画像になりますが、ファイルサイズは大きくなります。
★★	ファイン	
★	エコノミー	▼ 粗い画像になりますが、ファイルサイズは小さくなります。

1　📷モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「画質」を選ぶ

5　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6　十字キー（▲▼）で画質を切り替える

画質を切り替えると、その画質での撮影可能時間が画面に表示されます。

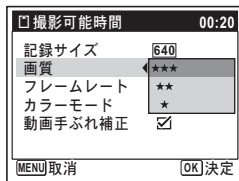
7　OKボタンを押す

画質の設定が保存されます。

8　MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画の記録サイズ、画質、フレームレート ☞p.30

4 撮影

フレームレートを選択する

動画のフレームレート（1秒間に撮る画面数）は、「30fps（フレーム／秒）」「15fps（フレーム／秒）」から選べます。「フレームレート」が大きいほど滑らかな動きになりますが、ファイルサイズが増えます。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「フレームレート」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

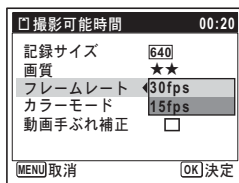
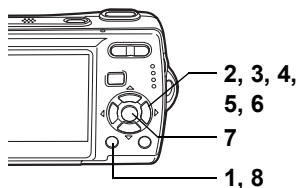
6 十字キー（▲▼）で「30fps」と「15fps」を切り替える

フレームレートを切り替えると、そのフレームレートでの撮影可能時間が画面に表示されます。

7 OKボタンを押す

フレームレートの設定が保存されます。

8 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画の記録サイズ、画質、フレームレート ☞p.30

白黒やセピア色で動画を撮影する（カラーモード）

（動画モード）では、カラーモードとして、「フルカラー」のほかに「白黒」と「セピア」が選べます。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「カラーモード」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

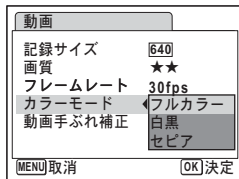
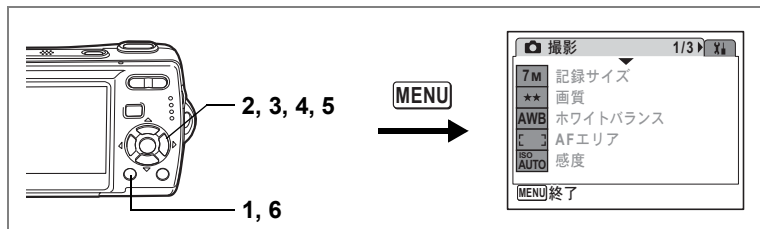
ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で色を選ぶ

7 OKボタンを押す

カラーモードの設定が保存されます。

8 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

撮影後の動画の「カラーモード」は、変更できません。

手ぶれ補正を設定する

（動画モード）では、手ぶれ補正機能を使って手ぶれを補正することができます。

1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

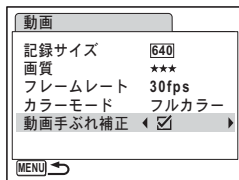
4 十字キー（▲▼）で「動画手ぶれ補正」を選ぶ

5 十字キー（◀▶）で、☑（オン）か□（オフ）に切り替える

動画手ぶれ補正の設定が保存されます。

6 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

4
撮影

再生する

モードとモードの切り替え

本書では、静止画の撮影など記録を行うモードを「モード」と表記します。また、撮影して記録した画像を液晶モニターに表示するなど再生を行うモードを「モード」と表記します。モードでは、再生した画像に簡単な画像処理を加えることもできます。
モードとモードの切り替えは、次のように行います。

モードからモードへ切り替える

1 ボタンを押す

モードに切り替わります。

モードからモードへ切り替える

1 ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

モードに切り替わります。

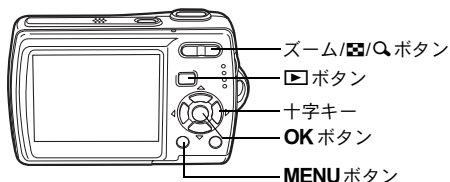
メモ

SDメモリーカードがセットされているときは、SDメモリーカード内の画像、動画、音声が表示されます。内蔵メモリー内の画像、動画、音声を表示する場合は、SDメモリーカードを取り出してください。

SDメモリーカードを入れたままで、内蔵メモリー内のデータを表示する（内蔵メモリー参照）

- モードからモードに切り替えるとき、ボタンを1秒以上押し続けると、SDメモリーカードがセットされていても、内蔵メモリー内の画像、動画、音声を表示することができます。
- 内蔵メモリー参照では、静止画再生（拡大表示も含む）（p.41、110）、動画再生（p.115）、音声再生（p.145）、9分割表示／フォルダ表示／カレンダー表示（p.108）を行うことができます。
- 内蔵メモリー参照では、データの消去、選択消去、再生モードパレットの表示、メニューの表示は行えません。内蔵メモリー内の画像、動画、音声にこれらの操作を行いたい場合は、SDメモリーカードを取り出してから行ってください。

静止画を再生する

操作方法は「画像を再生する」（p.41）をご覧ください。

9画面表示、フォルダ表示、カレンダー表示をする

9画面表示

複数の撮影画像を同時に 9 枚ずつ液晶モニターに表示させることができます。

1 ▶モードで、ズーム/⊞/Qボタンの⊞を押す

選択枠
①
②
🗑 選択消去
100-0010

画像が9コマで1ページとなるように表示され、ページ単位で表示される画像が変わります。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。10以上の画像が記録されている場合、①の画像を選択しているときに十字キー（▲◀）を押すと前のページが表示され、②の画像を選択しているときに十字キー（▼▶）を押すと次のページが表示されます。

画像の上に表示される記号の意味を示します。

無印	：音声なしの静止画
🎤（画像あり）	：音声付きの静止画
🎥	：動画（1コマ目の画像が表示されます。）
🎤（画像なし）	：音声のみのファイル

ズーム/⊞/QボタンのQか**OK**ボタン、**MENU**ボタンを押すと、選択した画像の1画面表示に切り替わります。
▶ボタンを押すと、📷モードに切り替わります。

フォルダ表示/カレンダー表示に切り替える

9画面表示でズーム/▦/🔍ボタンの▦ボタンを押すと、フォルダ表示またはカレンダー表示に切り替わります。フォルダ表示とカレンダー表示は、グリーンボタンで切り替えることができます。

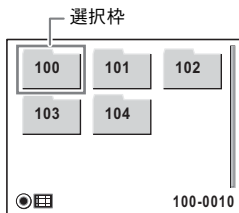
1　▶モードで、ズーム/▦/🔍ボタンの▦を押す

画面が9画面表示に切り替わります。

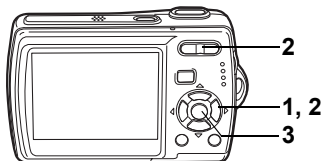
2　ズーム/▦/🔍ボタンの▦を押す

画面がフォルダ表示またはカレンダー表示に切り替わります。

フォルダ表示

画像や音声が記録されているフォルダが一覧表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。
フォルダを選択してズーム/▦/🔍ボタンの🔍かOKボタンを押すと、フォルダ内の画像が9画面表示されます。

カレンダー表示

撮影した画像や録音した音声が、日付ごとにカレンダー形式で表示されます。
カレンダーの日付には、各日付で撮影された最初の画像が表示されます。
その日付で最初に記録されているのが音声だけのデータならば、🎙が表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。
日付を選択してズーム/▦/🔍ボタンの🔍を押すと、その日付に撮影した画像が9画面表示されます。
日付を選択してOKボタンを押すと、その日付で最初に撮影した画像の1画面表示に切り替わります。

- フォルダ表示/カレンダー表示でMENUボタンを押すと、通常の9画面表示に切り替わります。
- フォルダ表示/カレンダー表示で▶ボタンまたはシャッターボタンを半押しすると、📷モードに切り替わります。

再生画像を拡大する

画像を再生する際、最大8倍まで拡大表示できます。拡大中は、液晶モニターに画像の拡大個所の中心を表示するためのガイドが表示されます。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズーム/⊞/Q ボタンのQを押す

画面が大きく（1.1倍～8倍）表示されます。ズーム/⊞/Q ボタンのQを押し続けると連続的に大きさが変わります。
画像のどの部分を拡大しているかを画面左下のガイド表示で確認できます。

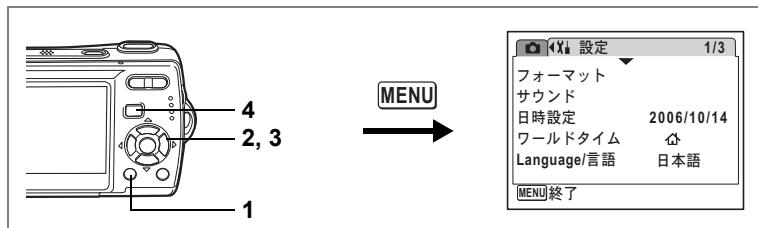
ガイド表示

拡大表示中にできる操作

十字キー（▲▼◀▶）	拡大位置を移動する
ズーム/⊞/Q ボタン（Q）	画像を拡大する（最大8倍まで）
ズーム/⊞/Q ボタン（⊞）	画像を縮小する（最小1.1倍まで）

3 OK ボタンを押す

1画面表示に戻ります。

- 動画は拡大表示できません。
- 液晶モニターが「情報表示なし」になっている場合は、ガイドは表示されません。

5 画像の再生と消去

クイック拡大をオン／オフする

クイック拡大をオンにすると、1画面表示時にズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を1回押すだけで、画像を最大倍率（8倍）まで拡大できます。

1 ▶モードでMENUボタンを押す

「設定」メニューが表示されます。

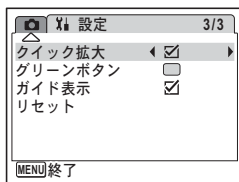
2 十字キー（▲▼）を押して「クイック拡大」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替える

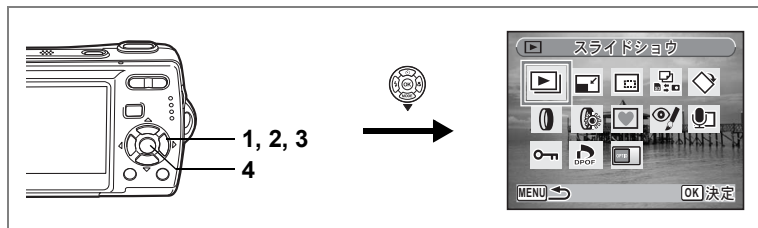
☑ ：8倍まで一気に拡大する

□ ：ズーム /⊞/🔍 ボタンの 🔍 を 1 回押すと、×1.1～×8.0の範囲で1段階ずつ拡大する

4 MENUボタンを押す

▶モードに戻ります。

撮影時の情報を表示する

▶モード時に**OK**/**DISPLAY**ボタンを押すと、表示中の画像に関する撮影情報などの表示が切り替わります。
表示内容の詳細は、p.18をご覧ください。

撮影時に撮影情報を確認する ☞p.77

スライドショウで連続再生する

保存された画像を連続して再生します。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ

4　OKボタンを2回押す

スライドショウがスタートします。
スライドショウの途中で**OK**ボタンを押すと、一時停止します。一時停止中に**OK**ボタンを押すと再開します。

5　OKボタン、電源スイッチ以外のどれかのボタンを押す

スライドショウが終了します。

スライドショウの条件を設定する

再生時の表示間隔、画像切り替え時の画面効果／効果音を設定します。

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

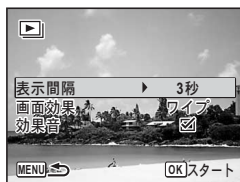
2　十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ

3 OKボタンを押す

スライドショウの条件を設定する画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「表示間隔」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で表示間隔を切り替え、OKボタンを押す

3秒、5秒、10秒、20秒、30秒から選択できます。

7 十字キー（▲▼）で「画面効果」を選ぶ

「画面効果」を選択後、引き続き十字キー（▶）を押すと、下記の選択できる内容がポップアップで表示されます。十字キー（▲▼）で選択し、**OK**ボタンを押すと決定します。

オフ	切り替え効果なし
ワイプ	左から右へ画面が流れる効果
チェッカー	小さな四角のモザイク状のブロックで画面が切り替わる効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がってくる効果

8 十字キー（▲▼）で「効果音」を選ぶ

9 十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替える

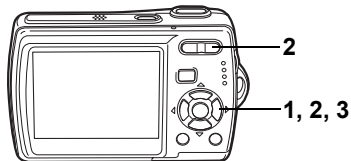
画面効果が「オフ」以外のとき、画面が切り替わるときに流れる音のオン（☑）／オフ（□）を切り替えることができます。

10 OKボタンを押す

設定した表示間隔と画面効果でスライドショウが始まります。

- スライドショウは、**OK**ボタン、電源スイッチ以外のどれかのボタンを押して終了するまで何度でも繰り返します。
- 動画や音声付き画像は、表示間隔の設定にかかわらず、通常はすべて再生されてから次の画像に移ります。ただし、動画の再生中や音声付き画像の音声再生中に十字キー（▶）を押すと、次の画像へ移ります。
- ボイスレコーディングモードで録音した音声は、スライドショウでは再生されません。

AV機器と接続する ☞p.116

動画を再生する

動画を再生する

動画を再生します。動画再生時には、音声も同時に再生されます。

1 ▶ モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2 十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

再生中にできる操作

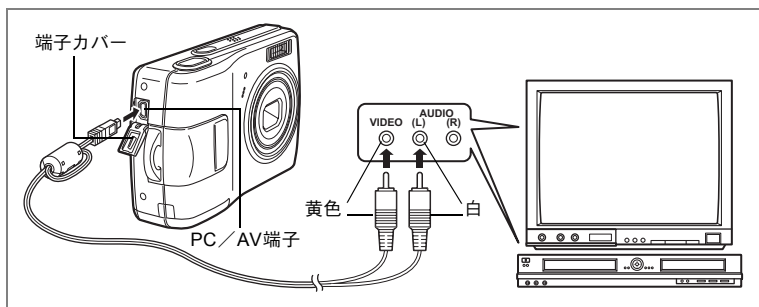
十字キー（◀）	逆方向に再生
十字キー（▲）	一時停止
ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする

一時停止中にできる操作

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除（再生）

3 十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

AV機器と接続する

AVケーブルを使用すると、テレビなど、ビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1　端子カバーを開き、PC／AV端子にAVケーブルを接続する

2　AVケーブルのもう一方の端子（映像：黄色、音声：白）を、AV機器の映像入力端子と音声入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

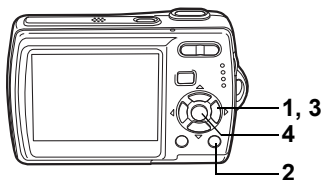
3　AV機器の電源をオンにする

カメラを接続した機器と、画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源をオンにします。
複数の映像入力端子があるAV機器（テレビなど）で画像を見る場合は、ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続している映像入力端子を選択してください。

4　カメラの電源をオンにする

- 長時間使用するときは、ACアダプターキットK-AC51J（別売）の使用をおすすめします。
- 国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。（p.158）
- AV機器に接続している間は、カメラの液晶モニターはオフになります。
- AV機器に接続している間は、カメラのズームボタンを使っての音量調整はできません。

消去する

失敗したり、不要になった画像や音声を消去します。

1画像／音声ずつ消去する

1画像、1音声ずつ消去します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。（p.122）

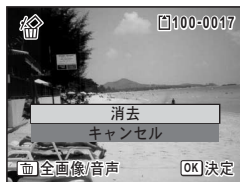
1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像／音声を選ぶ

2　🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「消去」を選ぶ

4　OK ボタンを押す

消去されます。

クイックビューが表示されている間に🗑ボタンを押すと手順2の画面が表示され、撮影したばかりの画像を消去できます。（p.42）

音声を消去する

音声付きの画像（p.146）の場合は、画像は消去せずに音声のみを消去することができます。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で音声付きの画像を選ぶ

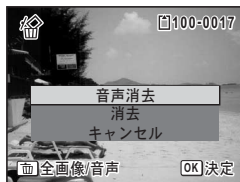
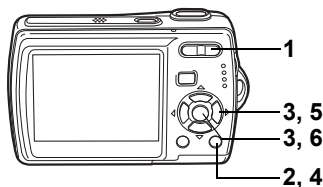
2　🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「音声消去」を選ぶ

4　OK ボタンを押す

音声が消去されます。

メモ

画像と音声の両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。

選択して消去する（9画面表示で消去）

9画面表示で複数の画像や音声を選択し、一括して削除します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。

1 ▶モードで、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す

画像が9コマずつ表示されます。

2 🗑ボタンを押す

画像や音声に□が表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で削除する画像または音声に移動し、OKボタンを押す

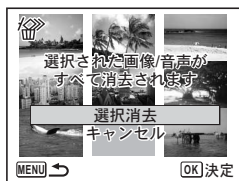
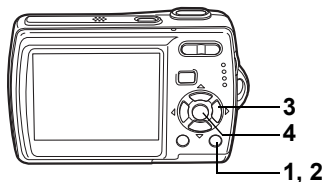
画像が選択され、☑が表示されます。
ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押すと、押している間だけ選択した画像が1画面表示されますので、削除したい画像かどうかを確認できます（離すと9画面表示に戻ります）。ただし、プロテクトされた画像は1画面表示できません。

4 🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で「選択消去」を選ぶ

6 OKボタンを押す

選択した画像や音声が消去されます。

まとめて消去する

保存されているすべての画像や音声を消去します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。（p.122）

1 ▶モードで🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

2 🗑ボタンを押す

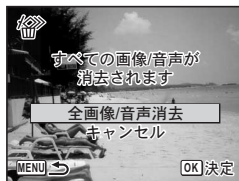
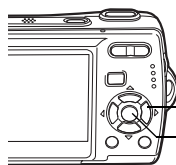
すべての画像や音声の消去を確認する画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「全画像/音声消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す

すべての画像や音声が消去されます。

5

画像の再生と消去

消去できないようにする（プロテクト）

記録した画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）でO‑ₙ（プロテクト）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

「1画像/音声」または「全画像/音声」を選択する画面が表示されます。

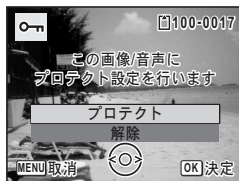
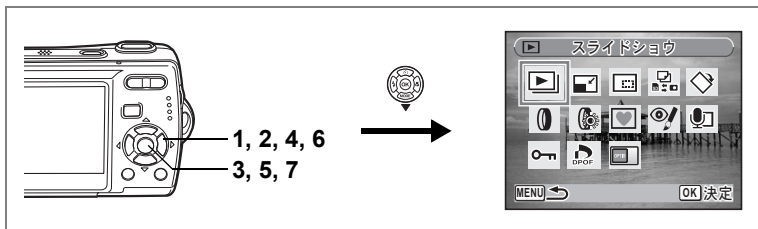
4　十字キー（▲▼）で「1画像/音声」を選ぶ

5　OK ボタンを押す

「この画像/音声にプロテクト設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。別の画像または音声をプロテクトする場合は、十字キー（◀▶）で画像または音声を選びます。

6　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

7　OK ボタンを押す

選択した画像または音声がプロテクトされます。

メモ
- プロテクトを解除するには、手順6で「解除」を選びます。
- プロテクトされている画像や音声には、再生時にファイル番号の下にO‑ₙが表示されます。

すべての画像と音声をプロテクトするには

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）でO–π（プロテクト）を選ぶ

3　OKボタンを押す

「1画像/音声」または「全画像/音声」を選択する画面が表示されます。

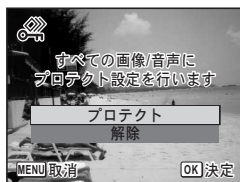
4　十字キー（▲▼）で「全画像/音声」を選ぶ

5　OKボタンを押す

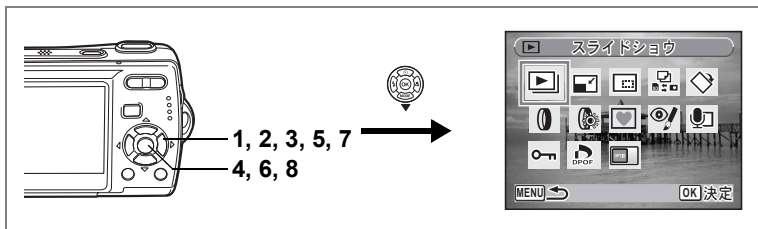
「プロテクト」または「解除」を選択する画面が表示されます。

6　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

7　OKボタンを押す

すべての画像と音声がプロテクトされます。

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトされている画像や音声も消去されます。

手順6で「解除」を選ぶと、すべての画像と音声のプロテクト設定が解除されます。

編集する

画像のサイズと画質を変更する（リサイズ）

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、元の画像よりもファイルサイズを小さくすることができます。SDメモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、続けて撮影できます。

- 動画はリサイズできません。
- 元の画像よりも大きいサイズ、きれいな画質は選択できません。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）でリサイズアイコン（リサイズ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

記録サイズと画質を選択する画面が表示されます。

5　「記録サイズ」と「画質」を選択する

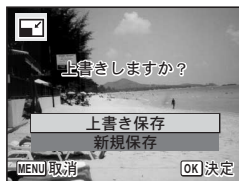
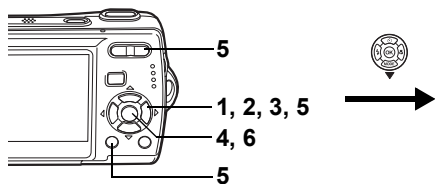
それぞれ、十字キー（◀▶）で選択します。「記録サイズ」と「画質」の切り替えは、十字キー（▲▼）で行います。

6 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

画像をトリミングする

画像周囲の不要な部分をカットして、別の画像として保存します。

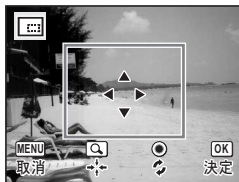
1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で⬚（トリミング）を選ぶ

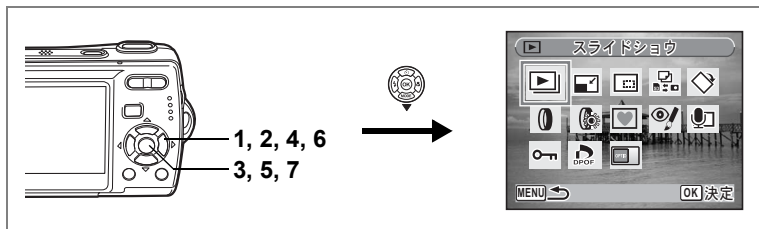
4　OK ボタンを押す

トリミングを行う画面が表示されます。

5　トリミング条件を選ぶ

ズーム/▦/🔍ボタン	トリミングサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を移動する
グリーンボタン	トリミング範囲を回転する

6　OK ボタンを押す

トリミングされた画像が新しいファイル名で保存されます。
トリミング後の画像は、元の画像と同じ画質で保存されます。記録サイズは、トリミングサイズに応じて自動的に設定されます。

動画はトリミングできません。

画像や音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声をコピーします。カメラにSDメモリーカードが入っていないと、この機能は選択できません。

注意 SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1 ▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で（画像/音声コピー）を選ぶ

3 OKボタンを押す

コピー方法を選択する画面が表示されます。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

内蔵メモリー内のすべての画像と音声をSDメモリーカードにまとめてコピーします。画像をコピーする前に、SDメモリーカードに充分な容量があることを確認しておいてください。

4 十字キー(▲▼)を押して「➡SD」を選ぶ

5 OKボタンを押す

すべての画像と音声がコピーされます。

6 画像の編集と印刷

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

SDメモリーカード内の画像や音声を1つずつ選んで、内蔵メモリーにコピーします。

4　十字キー(▲▼)を押して「SD➡内蔵メモリー」を選ぶ

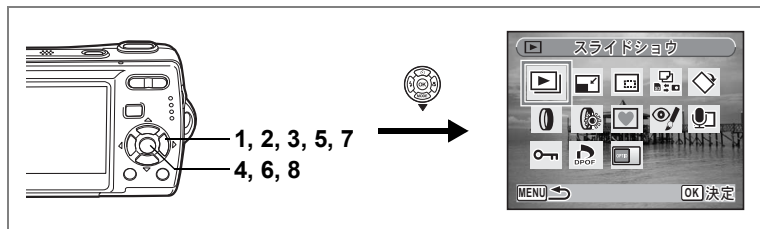
5　OKボタンを押す

6　十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ

7　OKボタンを押す

選択した画像／音声がコピーされます。

- 音声付きの画像は、音声付きのままコピーされます。
- SD メモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、新しいファイル名で画像がコピーされます。

6 画像の編集と印刷

デジタルフィルタを使う

選択した画像に対して、色調などを変えるデジタルフィルタ処理を行います。
デジタルフィルタには、白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄、SOFTの9種類のフィルタがあります。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で◐（デジタルフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

デジタルフィルタを選択する画面が表示されます。

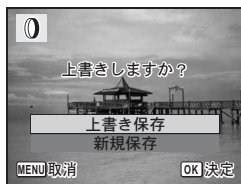
5　十字キー（▲▼）で使用するデジタルフィルタを選ぶ

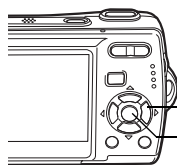
フィルタに応じた加工結果をプレビューできます。

6　OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

8　OKボタンを押す

デジタルフィルタで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

明るさフィルタを使う

選択した画像の明るさを調整します。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で（明るさフィルタ）を選ぶ

4 OKボタンを押す

明るさを調整する画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）で明るさを調整する

調整結果をプレビューできます。

6 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

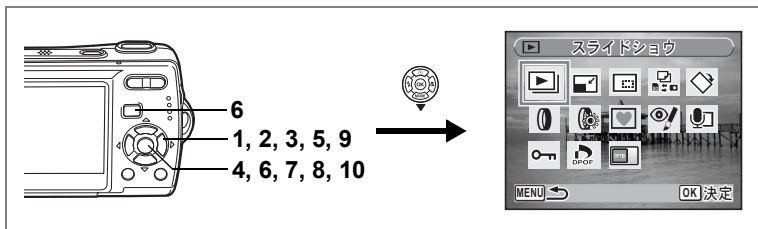
7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

8 OKボタンを押す

明るさフィルタで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

注意

動画や他のカメラで撮影した画像は「デジタルフィルタ」や「明るさフィルタ」を使って加工できません。再生モードパレットで機能を選択して**OK**ボタンを押すと、エラーメッセージが表示されます。

フレーム合成をする

撮影した静止画に、フレーム（飾り枠）を合成します。あらかじめ3種類のフレームが登録されています。

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でフレーム合成する画像を選ぶ

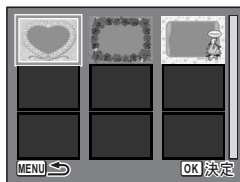
2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で♥（フレーム合成）を選ぶ

4　OK ボタンを押す

フレーム選択の9分割画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼◀▶）で使用するフレームを選ぶ

6　OK ボタンまたはズーム/▦/🔍 ボタンの🔍を押す

選んだフレームが1画面表示されます。
フレームは次の方法で選びなおすことができます。

- 十字キー (◀▶) を押して別のフレームを選択する
- **MENU**ボタンまたはズーム/▦/🔍ボタンの▦を押して、フレーム選択の9分割画面に戻り、手順5と同様の操作で別のフレームを選択する

7 OKボタンを押す

画像の位置調整、拡大／縮小を行う画面が表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像の位置を調整、ズーム/⊞/🔍ボタンで画像の拡大／縮小をすることができます。

8 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

10 OKボタンを押す

フレームが合成された画像が、3M の記録サイズで保存されます。

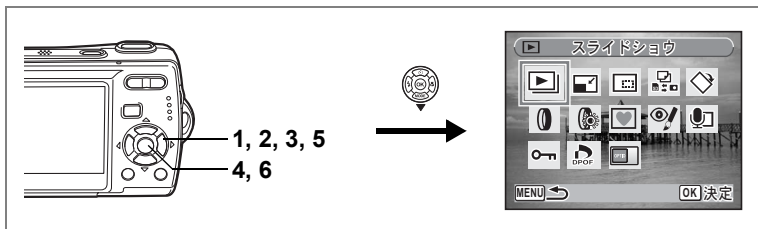
動画や 2M 以下のサイズの画像は「フレーム合成」をできません。手順4でエラーメッセージが表示されます。

新しく入手したフレームを使う

ホームページなどから入手したフレームを使用してフレーム合成することができます。手順3で♥（フレーム合成）を選んで**OK**ボタンを押すと、内蔵メモリーとSDメモリーカード内の使用できるフレームが表示されます。

新しいフレームは､弊社ホームページの下記ＵＲＬアドレスからダウンロードできます。

http://www.pentax.co.jp/japan/support/download/digital/frame_01.html

- あらかじめ内蔵メモリー内に登録されている3種類のフレームは削除することができません。
- ダウンロードして新しく入手したフレームは､最大96種類まで表示することができますので、内蔵メモリーに登録されている3種類のフレームと合わせ、99種類から選択することができます。

赤目を補正する

ストロボ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

1 ▶モードに入り、十字キー（◀▶）で赤目補正する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で赤目補正アイコン（赤目補正）を選ぶ

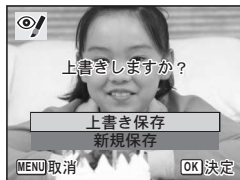
4 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

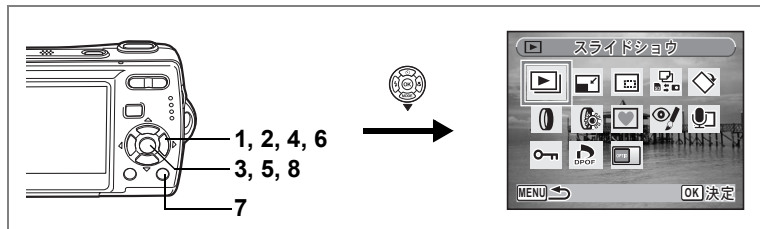
画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

6 OKボタンを押す

赤目補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

- 動画やカメラ側で赤目画像と特定できなかった画像は「赤目補正」できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。
- 赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

6 画像の編集と印刷

DPOFの設定をする

DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した静止画像に、プリントのための情報を記録するためのフォーマットです。撮影した静止画にDPOF設定をすると、DPOF対応プリンターやプリントサービス店でDPOF設定にしたがったプリントが行えます。
動画や音声のみのファイルには、DPOF 設定をすることはできません。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

枚数	プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
日付	プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　▶モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

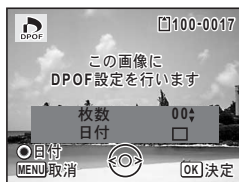
2　十字キー（▲▼◀▶）でDPOF（DPOF）を選ぶ

3　OK ボタンを押す

「1画像」または「全画像」を選択する画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「1画像」を選ぶ

5 OKボタンを押す

「この画像にDPOF設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。別の画像に DPOF 設定する場合は、十字キー（◀▶）で画像を選択します。
すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付の☑（オン）／□（オフ）が表示されます。

6 十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

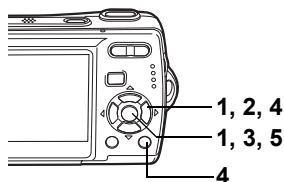
7 グリーンボタンを押し、「日付」を☑（オン）か□（オフ）に切り替える

☑ ：プリントに日付を入れる
□ ：プリントに日付を入れない
その他の画像にもDPOF設定をしたい場合は、十字キー（◀▶）で画像を選び、手順6、7を繰り返します。

8 OKボタンを押す

DPOF設定が保存され、DPOF設定メニュー画面に戻ります。

注意
プリンターやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で「日付」をオンにしても日付がプリントされないことがあります。

メモ
DPOF設定を解除するには、手順6で枚数を「00」に設定して、**OK** ボタンを押します。

全画像を設定する

カメラに保存されているすべての画像に同じ「枚数」「日付」の設定が適用されます。

1 ▶モードでDPOFの設定をする画面を表示する

p.134の手順1～3をご覧ください。

2 十字キー（▲▼）で「全画像」を選ぶ

3 OKボタンを押す

「すべての画像にDPOF設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。

4 プリント枚数、日付を☑（オン）か□（オフ）に切り替える

設定のしかたは「1画像ずつ設定する」の手順6、7（p.135）をご覧ください。

5 OKボタンを押す

設定した値で全画像のDPOF設定が保存され、DPOFの設定をする画面に戻ります。

全画像設定では、すべての画像に同じプリント枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。

全画像設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。

カメラとプリンターをつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB7）でカメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくてもカメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数などは、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

- カメラをプリンターに接続するときは、ACアダプターキットK-AC51Jのご使用をおすすめします。プリンターと通信中に電池が消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- データ転送中は、USBケーブルを抜かないでください。
- プリンターの機種によっては、カメラ側の設定（印刷設定、DPOF設定など）が一部反映されないことがあります。
- 設定されたプリント枚数が500枚以上になる場合、正しくプリントされないことがあります。
- 1 枚の用紙に複数画像をプリントする設定はカメラではできません。プリンター側で設定するか、パソコンを使って印刷してください。

カメラをプリンターに接続する

1 「設定」メニューの「USB接続」を「PictBridge」に設定する

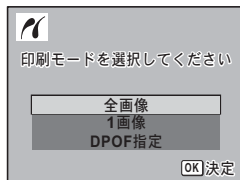
「USB接続モードを変更する」（p.157）をご覧ください。

2 カメラの電源をオフにする

3 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続する

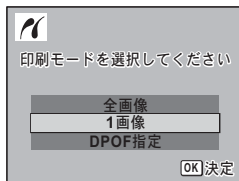
4 プリンターの電源をオンにする

5 プリンターの起動が完了したら、カメラの電源をオンにする

印刷モードを選択する画面が表示されます。

1画像ずつプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「1画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

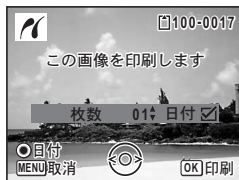
印刷条件を設定する画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

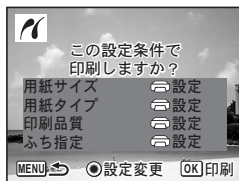
4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定できます。

5　グリーンボタンで、「日付」を☑（オン）か□（オフ）に切り替える

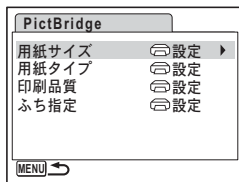
☑　：プリントに日付を入れる

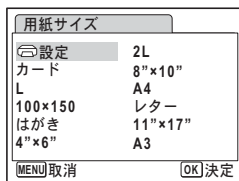
□　：プリントに日付を入れない

6　OKボタンを押す

印刷設定を確認する画面が表示されます。
プリンター側の印刷設定でプリントするときは、**OK**ボタンを押します。
印刷設定を変更するときは、手順7へ進みます。

7　グリーンボタンを押す

印刷設定の変更画面が表示されます。

8　「用紙サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す

用紙サイズの選択画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼◀▶）で用紙サイズを選ぶ

お使いのプリンターで印刷可能な用紙だけが選択できます。

10 OK ボタンを押す

用紙サイズの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。

11 十字キー（▲▼）で「用紙タイプ」を選び、十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

12 十字キー（▲▼）で用紙タイプを選び、OK ボタンを押す

用紙タイプの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。引き続き、手順11～12と同様の操作で「印刷品質」「ふち指定」を設定します。

それぞれの設定を選択するとプリンター側の設定にしたがいます。

用紙タイプは、★の数が多いほど高品質な用紙に対応します。

印刷品質は、★の数が多いほど高品質な印刷を行います。

各項目の設定が終了するごとに、印刷設定を確認する画面が表示されます。

13 MENU ボタンを押す

印刷設定を確認する画面に戻ります。

14 OK ボタンを押す

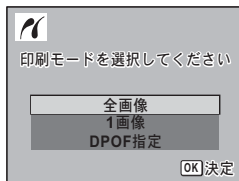
設定した値で印刷が開始されます。

MENU ボタンを押すと、印刷を中止します。

- プリンターと通信中はセルフタイマーランプが点灯、カードアクセス中、プリント中はセルフタイマーランプが点滅してお知らせします。セルフタイマーランプ点滅中は、USBケーブルを取り外さないでください。
- 「用紙サイズ」「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」の設定は、カメラの電源を切ると、ご購入時の状態に戻ります。

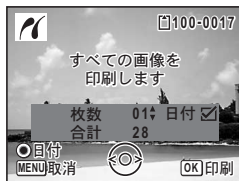
プリンターからケーブルを取り外す ☞p.141

全画像をプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「全画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

印刷する条件を設定する画面が表示されます。

3　プリント枚数、日付プリントの有無を設定する

全画像を何枚ずつプリントするか、日付をプリントするかどうかを選びます。
設定のしかたは「1画像ずつプリントする」の手順4、5（p.138）をご覧ください。

4　OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.138～p.139）をご覧ください。

5　印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した条件で全画像のプリントが開始されます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

DPOFの設定でプリントする

1 印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「DPOF指定」を選ぶ

2 OKボタンを押す

DPOF設定の内容が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像ごとの印刷枚数、日付の有無、プリント合計枚数を確認できます。DPOF設定については、p.134をご覧ください。

3 OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.138～p.139）をご覧ください。

4 印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した内容でプリントされます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

プリンターからケーブルを取り外す

プリントが終了したら、USBケーブルをカメラとプリンターから取り外します。

1 カメラの電源をオフにする

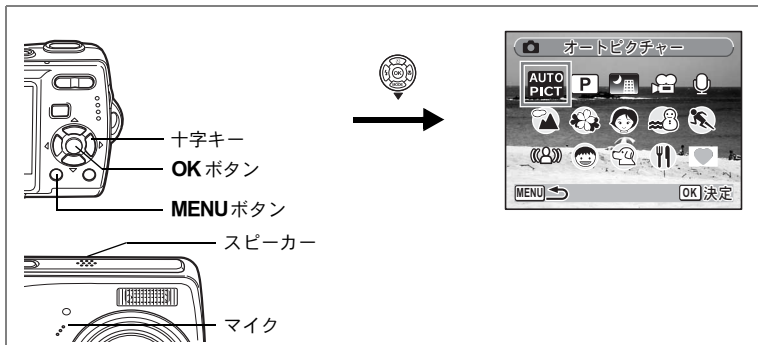
2 カメラとプリンターからUSBケーブルを取り外す

ImageLink print systemについて

このカメラは、ImageLink print systemに対応しています。
本製品に付属のドックインサートO-DI58とKodak EasyShareプリンタードックを組み合わせると、USBケーブルを使用せずに、カメラをドックインサートに乗せるだけでプリンタードックと接続することができます。また印刷操作も、プリンタードックのボタンひとつで簡単に行えます。
印刷の方法など、プリンターに関する詳しい情報は、プリンタードックに付属の使用説明書をご覧ください。

- このカメラとの組み合わせで、プリンターに搭載されている機能によっては、一部お使いいただけないことがあります。
- このカメラをプリンタードックに接続した状態では､同時にUSBケーブルを使って他のプリンターやパソコンなどと接続させることはできません。

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

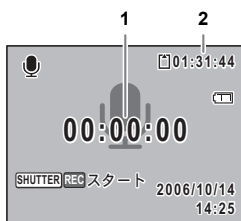
音声を記録します。マイクはカメラの正面に向かってレンズの左上にありますので、音声を記録する際は最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。

1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で（ボイスレコーディング）を選ぶ

3 OK ボタンを押す

液晶モニターに録音可能な時間と、これから録音するファイルの録音時間が表示されます。

1 録音時間
2 残り録音可能時間

4 シャッターボタンを全押しする

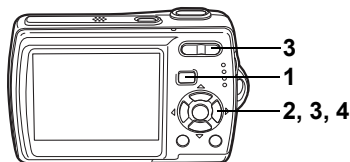
録音が開始されます。録音中は、セルフタイマーランプが点滅します。録音は連続で24時間まで可能です。
録音中にグリーンボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。

5　シャッターボタンを全押しする

録音を停止します。

- 手順4で1秒以上シャッターボタンを押し続けると、シャッターボタンから指を離したときに録音を停止します。
- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。

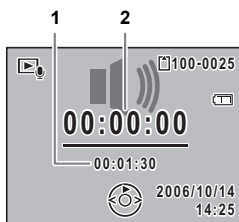
音声を再生する

🎙モードで録音した音声を再生します。

1　▶ボタンを押す

2　十字キー（◀▶）で再生したい音声ファイルを選ぶ

3　十字キー（▲）を押す

録音を再生します。

1 ファイルの総録音時間
2 再生済時間

再生中にできる操作

十字キー（▲）	再生を一時停止
ズーム/♠♠♠/♠ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/♠♠♠/♠ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする
インデックスがない場合	
十字キー（◀）	巻き戻し
十字キー（▶）	早送り
インデックスがある場合	
十字キー（◀）	前のインデックス位置から再生
十字キー（▶）	次のインデックス位置から再生

一時停止中にできる操作

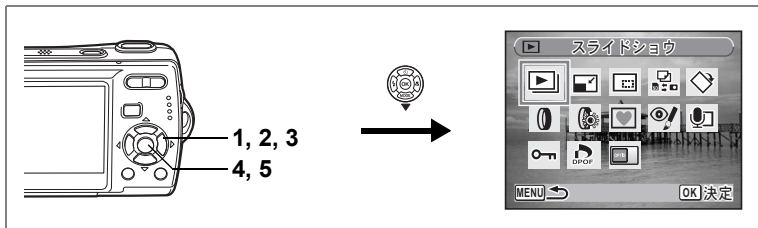
十字キー（▲）	再生を再開
十字キー（◀）	約5秒前に戻る
十字キー（▶）	約5秒先に送る

4　十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

SDメモリーカードをセットしているときでも、手順1で▶ボタンを1秒以上押し続けると、内蔵メモリー内に保存された音声を再生することができます。（p.106）

画像に音声を付ける（ボイスメモ）

撮影した静止画像に音声（ボイスメモ）を付けることができます。

ボイスメモを録音する

1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

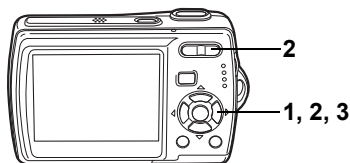
3　十字キー（▲▼◀▶）で（ボイスメモ）を選ぶ

4　OK ボタンを押す

ボイスメモの録音を開始します。ボイスメモは連続で24時間まで録音できます。

5　OK ボタンを押す

ボイスメモの録音が終了します。

- すでにボイスメモが録音されている画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったん音声を消去してから、もう一度録音してください。（p.118）
- プロテクト（O-π）されている画像（p.122）にボイスメモを付けることはできません。

ボイスメモを再生する

1　再生モードに入り、十字キー（◀ ▶）でボイスメモを再生する画像を選ぶ

ボイスメモが録音されている画像は、1画面表示時に♪が表示されます。

2　十字キー（▲）を押す

録音されたボイスメモが再生されます。

再生中にできる操作

ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠）　音量を大きくする
ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠♠♠）　音量を小さくする

3　十字キー（▼）を押す

ボイスメモの再生を停止します。

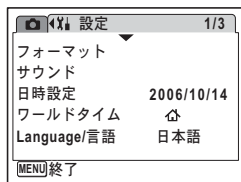
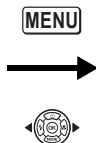
音声を消去する ☞p.118

カメラの設定をする

「設定」メニューの呼び出しかた

十字キー
OKボタン
MENUボタン

MENU

設定	1/3
フォーマット	
サウンド	
日時設定	2006/10/14
ワールドタイム	
Language/言語	日本語
MENU 終了	

SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。
SDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーのデータが消去されます。

- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像や、このカメラ以外で記録したデータも消去されます。ご注意ください。
- パソコンなどこのカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。

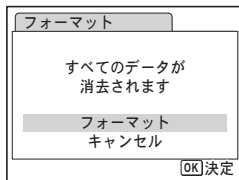
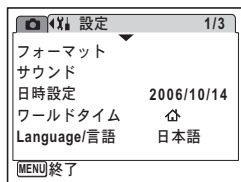
1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「フォーマット」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「フォーマット」を選ぶ

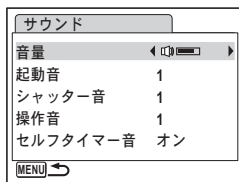
4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影モードまたは再生モードに戻ります。

サウンドの設定を変更する

各種操作音の音量、それぞれの音の種類を変更できます。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「サウンド」画面が表示されます。

操作音量を変更する

3 十字キー（▲▼）を押して「音量」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）を押して音量を調節する

選んだ音量が保存されます。
音量を0にすると起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音は鳴りません。

音の種類を変更する

5 十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

6 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

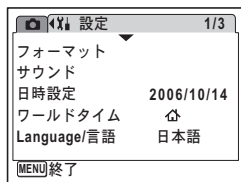
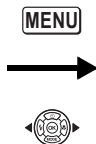
7　十字キー（▲▼）で「1」「2」「3」「オフ」のいずれかを選び、OKボタンを押す

選んだ音の種類が保存されます。

8　手順5～7と同様の操作で「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」を設定する

セルフタイマー音は「オン」「オフ」から選びます。

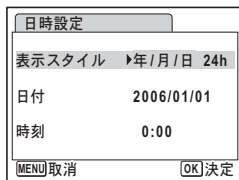
9　MENUボタンを押す

変更した設定のまま、「設定」メニューに戻ります。

日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。

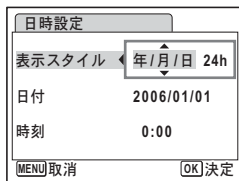
1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

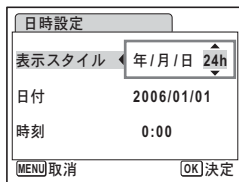
「日時設定」画面が表示されます。

3 十字キー（▶）を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。
初期設定や前回の設定によっては、「月/日/年」または「日/月/年」が表示されていることもあります。

4 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選びます。

5 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

6 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

日時設定
表示スタイル 年/月/日 24h
日付 ▶2006/01/01
時刻 0:00
MENU 取消 OK 決定

9 十字キー（▶）を押す

手順4で設定した表示スタイルにしたがって、選択枠が下記の項目に移動します。
「年/月/日」の場合　西暦年（例：「2006」年）
「月/日/年」の場合　月（例：「01」月）
「日/月/年」の場合　日（例：「01」日）
以下の操作手順や画面は、「年/月/日」に設定した場合です。他の表示スタイルに設定した場合でも、操作方法は同様です。

10 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

11 十字キー（▶）を押す

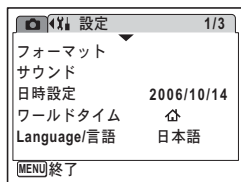
選択枠が「月」に移動します。十字キー（▲▼）で月を設定します。月を設定後は、同様の操作で、日を設定します。

12 手順7～10と同様の操作で、時刻を設定する

手順6で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

13 OKボタンを押す

日時の設定が保存されます。

メモ
日時の設定終了後、**OK** ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて **OK** ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

ワールドタイムを設定する

「日時を設定する」(p.37)や「日時を変更する」(p.151)で設定した日時は、⌂(現在地)の日時として設定されます。「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用するとき、液晶モニターに✈(目的地)として設定した国や地域の日時を表示できます。

目的地を設定する

1 「🔧設定」メニューで、十字キー(▲▼)を押して「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー(▶)を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

3 十字キー(▲▼)で✈(目的地)を選ぶ

ワールドタイム
時刻切替 ▶ ⌂
✈目的地 DST OFF
東京 14:25
⌂現在地 DST OFF
東京 14:25
MENU ↩

4 十字キー(▶)を押す

「目的地」画面が表示されます。現在設定されている都市が地図上で点滅表示されます。

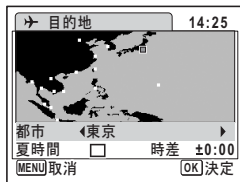
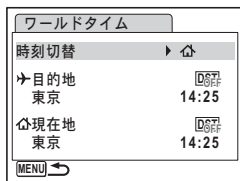
✈ 目的地 14:25
都市 ◀東京 ▶
夏時間 □ 時差 ±0:00
MENU 取消 OK 決定

5 十字キー(◀▶)で、目的地都市名を選ぶ

選択した都市の現在時刻、位置、時差が表示されます。

6 十字キー(▲▼)で「夏時間」を選ぶ

7 十字キー(◀▶)で☑(オン)か□(オフ)に切り替える

目的地が夏時間を採用している場合は、☑(オン)にします。

8　OKボタンを押す

目的地の設定が保存されます。

9　MENUボタンを2回押す

設定した内容で撮影できる状態になります。

p.153の手順3で⌂（現在地）を選ぶと現在地の都市や夏時間を設定できます。

目的地の日時をカメラに表示させる（時刻切替）

1　「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ワールドタイム」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

ワールドタイム
時刻切替　▶ ⌂
✈目的地　DST
ニューヨーク　0:25
⌂現在地　DST OFF
東京　14:25
MENU

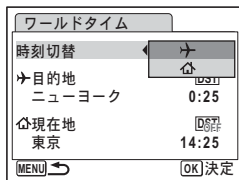
3　十字キー（▲▼）で「時刻切替」を選ぶ

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

ワールドタイム
時刻切替　✈ ⌂
✈目的地
ニューヨーク　0:25
⌂現在地　DST OFF
東京　14:25
MENU　OK 決定

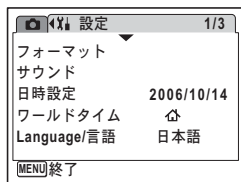
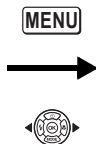
5　十字キー（▲▼）で✈（目的地）か⌂（現在地）に切り替える

✈　：目的地で選択した都市の時刻を表示
⌂：現在地で選択した都市の時刻を表示

6　OKボタンを押す

時刻切替の設定が保存されます。

7　MENUボタンを2回押す

📷モードまたは▶モードに戻ります。
📷モードに戻ったとき、ワールドタイムに切り替えた場合は、✈（目的地）アイコンが表示されます。

8
設定

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。
英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／ポルトガル語／イタリア語／スウェーデン語／オランダ語／ロシア語／タイ語／韓国語／中国語（繁体字/簡体字）／日本語の13言語に対応しています。

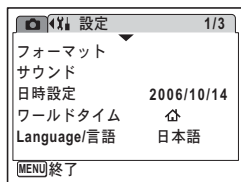
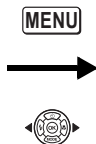
1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

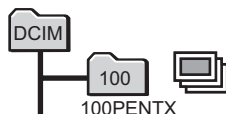
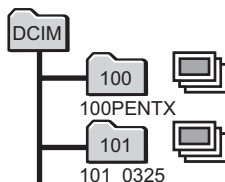
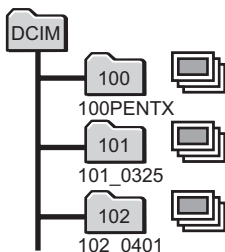
3 十字キー（▲▼◀▶）で表示させたい言語を選ぶ

4 OKボタンを押す

選んだ言語で表示するように設定されます。

画像のフォルダ名を変更する

画像のフォルダ名を、標準から日付に変更できます。日付に設定すると写真は撮影日ごとに違うフォルダに保存されます。

フォルダ名

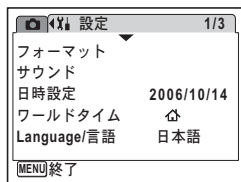
標準	XXXPENTX（XXXは3桁のフォルダ番号）
日付	XXX_mmdd（3桁のフォルダ番号_月日） ※ 日付の表示スタイルが「日／月／年」に設定されている場合は、xxx_ddmm（3桁のフォルダ番号_日月）になります。

1　「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「フォルダ名」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「標準」か「日付」に切り替える

4　OK ボタンを押す

フォルダ名の設定が保存されます。

USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先（パソコンまたはPictBridge対応プリンター）に応じてUSB接続モードを切り替えます。

パソコンとの接続については、別紙の『PC接続ガイド』をご覧ください。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「USB接続」を選ぶ

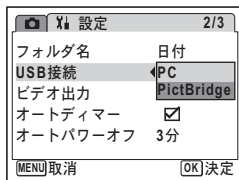
2 十字キー（▶）を押す

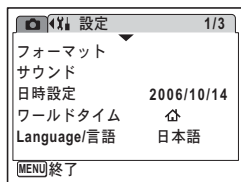
ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「PC」か「PictBridge」に切り替える

「PC」　　　　：パソコンに画像を転送する場合に選択
「PictBridge」：PictBridge対応のプリンターに接続する場合に選択

4 OKボタンを押す

USBモードの設定が保存されます。

「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。また、「PC」に設定したままカメラをプリンターに接続しないでください。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

ビデオ出力方式を選択する

AV機器と接続して撮影や再生をするときのビデオ出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ビデオ出力」を選ぶ

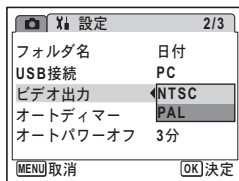
2 十字キー（▶）を押す

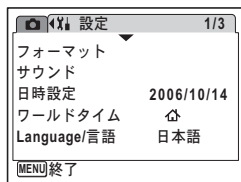
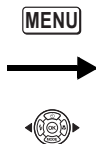
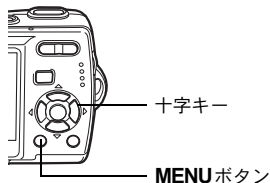
ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「NTSC」か「PAL」に切り替える

接続するAV機器のビデオ出力方式に合わせて選択します。

4 OKボタンを押す

ビデオ出力方式の設定が保存されます。

国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。

AV機器と接続する ☞p.116

液晶モニターの明るさを自動調節させる（オートディマー）

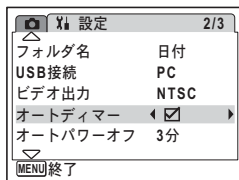
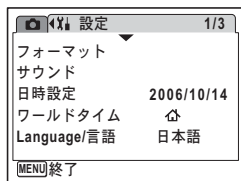
オートディマーの機能を使うと、周囲の明るさに応じて、液晶モニターが最適な明るさで表示するよう自動的に調整されます。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「オートディマー」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替える

下記の設定で保存されます。
オン：オートディマーの機能を有効にする
オフ：オートディマーの機能を無効にする

3 MENUボタンを押す

撮影モードまたは再生モードに戻ります。
設定を変更する場合は、再度同様の操作を行ってください。

以下の場合は、オートディマー機能が作動しません。
- ▶モード中
- パソコン／プリンター接続中
- 動画撮影中

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「オートパワーオフ」を選ぶ

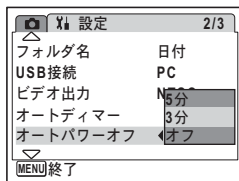
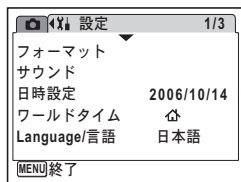
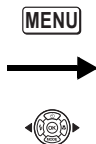
2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「5分」か「3分」か「オフ」に切り替える

4 OK ボタンを押す

オートパワーオフの設定が保存されます。

メモ

以下の場合は、オートパワーオフ機能が作動しません。
- スライドショウ／動画再生中
- パソコン／プリンター接続中

ガイド表示を設定する

撮影モードパレット（p.52）や再生モードパレット（p.58）でモードを選んだときのモードの説明や、電源をオンにしたときの撮影モード表示を表示させるかさせないかを設定します。

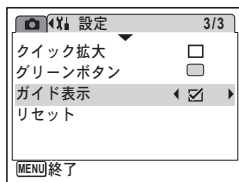
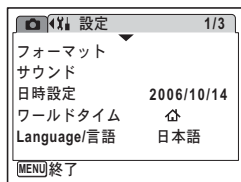
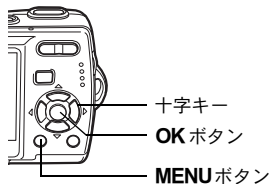
1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ガイド表示」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替える

下記の設定で保存されます。
オン：表示させる
オフ：表示させない

3 MENUボタンを押す

撮影モードまたは再生モードに戻ります。
設定を変更する場合は、再度同様の操作を行ってください。

8
設定

「設定」メニューの呼び出しかた

設定をリセットする

カメラの設定内容をご購入時の状態に戻します。リセット項目については「初期設定一覧」(p.166) をご覧ください。

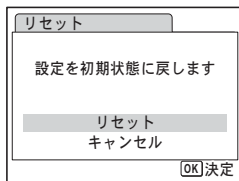
1 「設定」メニューで、十字キー(▲▼)を押して「リセット」を選ぶ

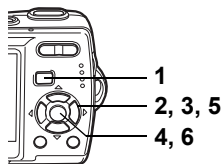
2 十字キー(▶)を押す

「リセット」画面が表示されます。

3 十字キー(▲▼)で「リセット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

設定がリセットされます。

以下の設定はリセット前のまま保存されます。
日時設定、Language/言語、ビデオ出力

再生モードパレットの呼び出しかた

起動画面を変更する

カメラの電源をオンにしたときに起動画面として表示させる画像を設定します。

1 ▶ボタンを押す

▶モードに入ります。

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で OPTIO（起動画面設定）を選ぶ

4 OK ボタンを押す

起動画面を選択するための画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）を押して、起動画面として表示する画像を選ぶ

6 OK ボタンを押す

起動画面の設定が保存されます。

- 設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SD メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットしても消去されません。
- 「オフ」を選ぶと起動画面が表示されなくなります。

都市名一覧

ワールドタイムで「現在地」および「目的地」に指定できる都市名です。

地域	都市名	ビデオ出力
北米	ホノルル	NTSC
	アンカレジ	NTSC
	バンクーバー	NTSC
	サンフランシスコ	NTSC
	ロサンゼルス	NTSC
	カルガリー	NTSC
	デンバー	NTSC
	シカゴ	NTSC
	マイアミ	NTSC
	トロント	NTSC
	ニューヨーク	NTSC
	ハリファックス	NTSC
中南米	メキシコシティ	NTSC
	リマ	NTSC
	サンティアゴ	NTSC
	カラカス	NTSC
	ブエノスアイレス	PAL
	サンパウロ	PAL
	リオデジャネイロ	PAL
ヨーロッパ	リスボン	PAL
	マドリード	PAL
	ロンドン	PAL
	パリ	PAL
	アムステルダム	PAL
	ミラノ	PAL
	ローマ	PAL
	ベルリン	PAL
	ストックホルム	PAL
	アテネ	PAL
	ヘルシンキ	PAL
	モスクワ	PAL
アフリカ・西アジア	ダカール	PAL
	アルジェ	PAL
	ヨハネスブルグ	PAL
	イスタンブール	PAL
	カイロ	PAL

地域	都市名	ビデオ出力
アフリカ・西アジア	エルサレム	PAL
	ナイロビ	PAL
	ジッダ	PAL
	テヘラン	PAL
	ドバイ	PAL
	カラチ	PAL
	カブール	PAL
	マーレ	PAL
	デリー	PAL
	コロンボ	PAL
	カトマンズ	PAL
	ダッカ	PAL
東アジア	ヤンゴン	NTSC
	バンコク	PAL
	クアラルンプール	PAL
	ビエンチャン	PAL
	シンガポール	PAL
	プノンペン	PAL
	ホーチミン	PAL
	ジャカルタ	PAL
	香港	PAL
	北京	PAL
	上海	PAL
	マニラ	NTSC
	台北	NTSC
	ソウル	NTSC
	東京	NTSC
	グアム	NTSC
オセアニア	パース	PAL
	アデレード	PAL
	シドニー	PAL
	ヌーメア	PAL
	ウェリントン	PAL
	オークランド	PAL
	パゴパゴ	NTSC

- 初期設定（p.34）の際に「現在地」としていずれかの都市名を選ぶと、「ビデオ出力」欄に示したビデオ出力方式が自動的に設定されます。
- 「🔧設定」メニュー「ワールドタイム」で「現在地」を変更した場合は、必要に応じて手動でビデオ出力方式を変更してください。

初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。
各メニュー項目の中で初期設定値があるものについて表示内容の意味を示します。

ラストメモリ設定

する　：カメラの電源をオフにしても現在の設定（ラストメモリ）が保存される。
しない：カメラの電源をオフにすると初期設定に戻る。
※　　：「する」／「しない」は「モードメモリ」(p.96) の設定による。

リセット設定

する　：リセット（p.162）で初期設定に戻る。
しない：リセットしても設定が保存される。

●「撮影」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
記録サイズ		7M（3072×2304）	する	する	p.83
画質		★★（ファイン）	する	する	p.85
ホワイトバランス		AWB（オート）	※	する	p.87
AFエリア		[ ]（マルチ）	する	する	p.89
感度		オート	※	する	p.90
露出補正		±0.0	※	する	p.76
動画	記録サイズ	640（640×480）	する	する	p.100
	画質	★★★（S.ファイン）	する	する	p.102
	カラーモード	フルカラー	する	する	p.104
	フレームレート	30fps	する	する	p.103
	動画手ぶれ補正	オン	する	する	p.105
デジタルズーム		オン	※	する	p.75
クイックビュー		1秒	する	する	p.92
モードメモリ	ストロボモード	オン	—	する	p.81
	ドライブモード	オフ	—	する	p.72、p.73
	フォーカスモード	オフ	—	する	p.79
	ズーム位置	オフ	—	する	p.74
	MF位置	オフ	—	する	p.80

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
モードメモリ	ホワイトバランス	オフ	—	する	p.87
	感度	オフ	—	する	p.90
	露出補正	オフ	—	する	p.76
	デジタルズーム	オン	—	する	p.75
	DISPLAY	オフ	—	する	p.77、p.112
	ファイルNo.	オン	—	する	—
シャープネス		標準	する	する	p.93
彩度		標準	する	する	p.94
コントラスト		標準	する	する	p.95

●「設定」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
サウンド	音量	3	する	する	p.149
	起動音	1	する	する	
	シャッター音	1	する	する	
	操作音	1	する	する	
	セルフタイマー音	オン	する	する	
日時設定	表示スタイル(年月日)	初期設定による	する	しない	p.37
	表示スタイル(時間)	初期設定による	する	しない	
	日付	初期設定による	する	しない	
	時刻	初期設定による	する	しない	
ワールドタイム	ワールドタイム設定	オフ	する	しない	p.153
	目的地(都市)	現在地と同じ	する	しない	
	目的地(夏時間)	現在地と同じ	する	しない	
	現在地(都市)	初期設定による	する	しない	
	現在地(夏時間)	初期設定による	する	しない	
Language/言語		初期設定による	する	しない	p.34
フォルダ名		標準	する	する	p.156
USB接続		PC	する	する	p.157
ビデオ出力		初期設定による	する	しない	p.158
オートディマー		オン	する	する	p.159
オートパワーオフ		3分	する	する	p.160
クイック拡大		オフ	する	する	p.111
グリーンボタン		グリーンモード	する	する	p.56
ガイド表示		オン	する	する	p.161

● 再生モードパレット項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
スライドショウ	表示間隔	3秒	する	する	p.113
	画面効果	ワイプ	する	する	
	効果音	オン	する	する	
起動画面設定	Optioロゴ画面	オン	する	する	p.163

● キーによる操作

名称		機能	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
▶ボタン		動作モード	▶モード	—	—	—
ズーム/♠♠♠/♠ボタン		ズーム位置	広角端	※	する	p.74
十字キー	▲	ドライブモード	□（標準）	※	する	p.72、p.73
	▼	撮影モード	AUTO PICT（オートピクチャー）	する	する	p.52
	◀	ストロボモード	⚡A（オート）	※	する	p.81
	▶	フォーカスモード	AF（標準）	※	する	p.79
MENUボタン		メニュー表示	撮影モード：「📷メニュー」 再生モード：「🔧メニュー」	—	—	p.47
OK/DISPLAYボタン		情報表示	標準	※	する	p.77、p.112

9 付録

撮影モードごとの使える機能／使えない機能

○：設定でき、動作にも反映されます。
×：設定できません。
△：設定はできますが、動作には反映されません。

		AUTO PICT	P								
（オート）	○	○	○	×	×※3	×	○	○	○	○	○
（発光禁止）	○	○	○	○	○※3	×	○	○	○	○	○
（強制発光）	×	○	○	○	×※3	×	○	○	○	○	○
（オート＋赤目）	×	○	○	×	×※3	×	○	○	○	○	○
（強制＋赤目）	×	○	○	○	×※3	×	○	○	○	○	○
（ソフト）	×	○	○	○	×※3	×	○	○	○	○	○
（セルフタイマー）	○※1	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
（2秒セルフタイマー）	○※1	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
（連続撮影）	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○
AF（標準）	○	○	○	○	×※4	×	○	○	○	○	○
（マクロ）	○	○	○	○	×※4	×	○	○	○	○	○
（スーパーマクロ）	○	○	○	○	×※4	×	○	○	○	×	○
（無限遠）	×	○	○	○	×※4	×	○	○	○	○	○
PF（パンフォーカス）	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
MF（マニュアルフォーカス）	×	○	○	○	×※4	×	○	○	○	○	○
記録サイズ	×	○	○	○	△※5	△	○	×※11	○	○	○
画質	×	○	○	○	△※5	△	○	×※12	○	○	○
ホワイトバランス	×	×	○	×	○	△※9	○	○	×	×	×
AFエリア	×	×※2	○	○	△※4	△	○	○※7	○	×※13	○
感度	×	○	○	○	×	△	×※10	○	○	○	○
露出補正	×	×	○	○	○※6	△	○	○	○	○	○
動画	×	△	△	△	○	△	○	○	△	△	△
デジタルズーム	×	○	○	○	○	△	○	○	○	×	○
クイックビュー	×	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○
モードメモリ	×	○	○	○	○※8	○※8	○	○	○	○	○
シャープネス	×	×	○	×	△	△	○	○	×	×	×
彩度	×	×	○	×	△	△	○	○	×	×	×
コントラスト	×	×	○	×	△	△	○	○	×	×	×

※1　グリーンモード以外の撮影モードで設定した方が使用可能
※2　マルチ固定
※3　（発光禁止）に固定
※4　**PF**（パンフォーカス）に固定
※5　「動画」設定値に準ず
※6　撮影中は不可
※7　（自動追尾）は不可
※8　一部の関係ある内容は反映
※9　（マニュアル）は設定不可
※10　高感度オート固定
※11　3M（2048×1536）に固定
※12　★★に固定
※13　顔認識AF機能のため、［　］（マルチ）に固定

9
付録

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプターキット K-AC51J

USBケーブル I-USB7（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

ストラップ

O-ST51（※）

O-ST24　本革を使ったリッチなレザーストラップです。

O-ST8　シルバーに輝くチェーンストラップです。

O-ST30

カメラケース

O-CC58

（※）の製品は同梱品と同じものです。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

電池容量がなくなりました	電池の残量がありません。新しい電池と交換するか、充電式電池の場合は充電器で充電してください。（p.22）
カードの空き容量がありません	SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.26、p.117） 撮影済み画像の画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.124）
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコン上では画像を表示またはコピーできる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。（p.148）
カードがロックされています	SDメモリーカードがライトプロテクトされています。（p.28）
圧縮に失敗しました	撮影時にSDメモリーカードの容量の上限を超えたときに表示されます。
画像/音声がありません	SDメモリーカードに再生できる画像や音声が保存されていません。
動画記録を中止します	動画撮影時にカメラ内部の温度上昇が限界を超えた場合に表示されます。
消去中です	画像や音声を消去中に表示されます。
再生できません	このカメラでは再生できない画像や音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
フォルダが作成できません	最大のフォルダ番号（999）で最大のファイル番号（9999）が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください。（p.148）
プロテクトされています	プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。
記録中です	画像がまだ記録中なのに、▶モードに切り替えたとき、またはプロテクト、DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録が終了したら表示が消えます。
処理中です	画像処理などに時間がかかり5秒以上スルー画像が表示できないとき、またはSDメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンターエラーです	接続したプリンターからエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。(p.20)
	電池の残量がない	新しい電池を入れてください。または、ACアダプターを使用してください。
液晶モニターに何も表示されない	パソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニターが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボ充電中は撮影できません。充電が完了すると撮影できます。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.26、117)
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	被写体までの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。（p.40）あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。（p.80）
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニター中央のAFエリアに、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードをにセットしてください。（p.79）
	フォーカスモードがになっている	フォーカスモードがにセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が（発光禁止）になっている	オートまたは（強制発光）に設定してください。（p.81）
	ドライブモードが フォーカスモードが 撮影モードが	これらのモードではストロボは発光しません。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	PictBridgeモードになっている	カメラのUSB接続モード「PC」に切り替えてください。（p.157）
プリンターとのUSB接続がうまくいかない	転送モードが「PC」になっている	転送モードを「PictBridge」に切り替えてください。（p.137）

静電気などの影響により、まれにカメラが正しい動作をしなくなることがあります。このような場合には、電池を入れ直してみてください。入れ直してから再度、電源をオンにしてカメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	700万画素	
撮像素子	総画素数738万画素、 原色フィルター／インターライントランスファー 1/2.5型CCD	
記録画素数	静止画	7M（3072×2304）、5M（2560×1920） 4M（2304×1728）、3M（2048×1536） 2M（1600×1200）、1024（1024×768） 640（640×480）（ピクセル） ※フレーム合成は3M（2048×1536）に固定
	動画	640（640×480）、320（320×240）ピクセル
感度	オート、マニュアル（64／100／200／400／800／1600：標準出力感度） ※ ぶれ軽減モード選択時は感度オートにおいても標準出力感度 1600 まで自動選択	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PictBridge対応、PRINT Image Matching III対応
	動画	MOV（QuickTime Motion JPEG準拠）、ストリーミング記録、約30fps／約15fps（フレーム／秒）、PCM方式・モノラル音声付、フルカラー・セピア・白黒切替可、動画手ぶれ補正機能付
	音声	ボイスメモ、ボイスレコード：WAVE（PCM）方式、モノラル
画質	静止画	★★★（S.ファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー）
	動画	★★★（S.ファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー）
記録媒体	内蔵メモリー（約21.9MB）、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード	

撮影枚数と時間

静止画

	★★★（S.ファイン）		★★（ファイン）		★（エコノミー）	
	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB
7M 3072×2304	6枚	35枚	12枚	69枚	18枚	103枚
5M 2560×1920	8枚	49枚	17枚	95枚	24枚	137枚
4M 2304×1728	11枚	62枚	22枚	124枚	31枚	178枚
3M 2048×1536	13枚	77枚	27枚	153枚	40枚	223枚
2M 1600×1200	22枚	124枚	36枚	206枚	54枚	301枚
1024 1024× 768	43枚	244枚	73枚	412枚	93枚	522枚
640 640× 480	87枚	489枚	127枚	712枚	175枚	979枚

撮影枚数は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影枚数は異なることがあります。

動画

		30fps		15fps		音声	
		内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB	内蔵メモリー	128MB
640 640×480	★★★	20秒	1分56秒	41秒	3分50秒	17分23秒	1時間36分58秒
	★★	28秒	2分36秒	54秒	5分1秒		
	★	42秒	3分57秒	1分22秒	7分40秒		
320 320×240	★★★	33秒	3分6秒	1分3秒	5分55秒		
	★★	45秒	4分12秒	1分27秒	8分9秒		
	★	1分3秒	5分55秒	2分7秒	11分51秒		

撮影時間・録音時間は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影時間・録音時間は異なることがあります。

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	6.3mm～18.9mm (35mmフィルム換算：38mm～114mm相当)
	F値	F3.1～F5.9
	レンズ構成	5群6枚（非球面レンズ1枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	約44mm×約33mmを画面いっぱいに撮影可能 (スーパーマクロモード時)
	レンズバリア	電動式
デジタルズーム	撮影時	最大約4倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約12倍ズーム相当のズーム倍率）
液晶モニター	2.5型TFTカラーLCD（バックライト付）、照度センサーによる明るさ自動機能調整付、約11.5万画素	
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大8倍まで、スクロール可）、フォルダ表示、カレンダー表示、回転表示、音声再生、ボイスメモ再生、スライドショウ、動画再生、ヒストグラム表示、白とび・黒つぶれ表示、選択消去、画像/音声コピー、デジタルフィルタ（白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄、ソフト）、明るさフィルタ、トリミング、リサイズ、フレーム合成、赤目補正、プロテクト、DPOF機能あり	

フォーカスモード	オートフォーカス、マクロ、スーパーマクロ、無限遠、パンフォーカス、マニュアルフォーカス	
	方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式 9点AF（マルチ／スポット／自動追尾切替可）
	静止画（レンズ前面から）	ノーマル ：約0.4m～∞（ズーム全域 ただし望遠時のみ0.6m～∞） マクロ ：約0.1m～約1.0m（広角時） スーパーマクロ： 約0.05m～約0.4m 遠景 ：∞（ズーム全域） パンフォーカス： 約1.4m～∞（広角時）、 約5.8m～∞（望遠時） マニュアルフォーカス： 約0.1m～∞（広角時）、 約0.6m～∞（望遠時） ※ピクチャーモードで「ポートレート」選択時のみ、顔認識AF可
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
露出機構	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割測光）
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
撮影モード	グリーン、オートピクチャー、プログラム、夜景、動画、ボイスレコーディング、風景、花、ポートレート、サーフ＆スノー、スポーツ、ぶれ軽減、キッズ、ペット、料理、フレーム合成	
動画	連続録画時間	約1秒～内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱいまで
デジタルフィルタ	白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄、ソフト、明るさ	
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～約4秒
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート（低照度時）、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減（夜景モード時のみ低速シンクロ可能）
	撮影範囲	広角時 約0.5m～約4m （標準出力感度オートの条件において） 望遠時 約0.6m～約2m （標準出力感度オートの条件において）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影（約10秒後、約2秒後）、連続撮影	
セルフタイマー	電子制御式、制御時間：約10秒、約2秒	
電源	単3形電池2本（アルカリ、リチウム、ニッケルマンガン、ニッケル水素電池）、ACアダプターキット（別売）	

電池寿命	撮影可能枚数 220枚（単3アルカリ電池使用）※1 330枚（単3ニッケルマンガン電池使用）※1 460枚（単3ニッケル水素電池使用）※1 700枚（単3リチウム電池使用）※1
	再生時間 500分（単3アルカリ電池使用）※2 570分（単3ニッケルマンガン電池使用）※2 640分（単3ニッケル水素電池使用）※2 900分（単3リチウム電池使用）※2
	動画撮影時間 90分（単3アルカリ電池使用）※2 120分（単3ニッケルマンガン電池使用）※2 200分（単3ニッケル水素電池使用）※2 300分（単3リチウム電池使用）※2
	音声録音時間 570分（単3アルカリ電池使用）※2 630分（単3ニッケルマンガン電池使用）※2 680分（単3ニッケル水素電池使用）※2 1340分（単3リチウム電池使用）※2 ※1撮影枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。 ※2時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。
入出力ポート	PC／AV端子、DC入力端子
ビデオ出力方式	NTSC／PAL（モノラル音）
PictBridge	対応プリンター：PictBridge対応のプリンター 印刷モード：1画像印刷、全画像印刷、DPOF印刷 用紙サイズ指定：カード、L、2L、ハガキ、100mm×150mm、4"×6"、8"×10"、レター、11"×17"、A4、A3、プリンター設定 用紙タイプ指定：★★★、★★、★、プリンター設定 印刷品質設定：★★★、★★、★、プリンター設定 ふち指定：あり、なし、プリンター設定
ImageLink	対応
大きさ	94（幅）× 61（高）× 23（厚）mm（操作部、突起部を除く）
質量	130g（電池、SDメモリーカード含まず）
撮影時質量	170g（電池、SDメモリーカード含む）
主な付属品	単3形アルカリ電池（2本）、USBケーブル、AVケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ストラップ、ドックインサート、使用説明書、簡単ガイド、保証書

索引

記号

数字

A

D

I

M

N

O

P

S

U

あ行

か行

さ行

た行

9
付録

9

付録

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

電話受付

0120-737-919（フリーダイヤル）
03-3975-4314（携帯・PHS用）
受付時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く）

インターネット受付

URL：https://www.pentax.co.jp/japan/support/

FAX受付

FAX：03-3975-4318
インターネット受付のURLアドレスからFAX申込書をダウンロードしてお使いください。

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター　03-3975-4341（代）
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
ペンタックス（株）流通センター内
営業時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター　06-6271-7996（代）
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス　http://www.pentax.co.jp/

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター

ナビダイヤル　0570-001313
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS の方は、右記の電話番号をご利用ください。　**☎03-3960-3200（代）**

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間　午前 9：00 ～午後 6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム　☎03-3348-2941（代）

〒 163-0401　東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）

営業時間　午前 10：30 ～午後 6：30
（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

[ペンタックスファミリーのご案内]
「写真をもっと楽しむために …」

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の全国的な写真クラブです。会員の方には、年 4 回発行の機関誌「Pentax Family」や年 1 回発行の「ペンタックス写真年鑑」などの刊行物をお届けするほか、写真セミナーなどのイベントへの参加や修理料金の会員割引等の様々な特典をご用意しています。あなたも「ペンタックスファミリー」で素晴らしい写真の世界をお楽しみください。

ペンタックスファミリー事務局　☎03-3960-5740（代）

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間　午前 9:00 ～午後 5:30
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスファミリーホームページアドレス　http://www.pentax.co.jp/family/

ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属しています CD-ROM と弊社ホームページから登録が可能です。
同梱の「PC 接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57745　02-200609
Printed in Indonesia